

Part 1 基本情報

1. エジプト プロフィール

- (1) 正式名称 (和文) エジプト・アラブ共和国
(英文) Arab Republic of Egypt
- (2) 政体 立憲共和制
- (3) 首都 カイロ
- (4) 面積 100万1450平方km(日本の約2.6倍)
- (5) 人口 7,576万人 (2009年1月)
- (6) 民族 アラブ系エジプト人
- (7) 言語 公用語 : アラビア語
- (8) 宗教 イスラム教 (スンニー派) 94%、キリスト教 (コプト派) など6%
- (9) 略史 古代文明発祥の地のひとつ。紀元前2950年ごろエジプト統一王朝成立。7世紀にイスラム化。1517年オスマン・トルコの支配下に入る。1882年イギリスによる占領。1922年イギリスより独立(王政)。1952年共和制に移行。2011年1月以降の『アラブの春』に伴い長期間政権の座にいたムバラク大統領が退陣。2011年11月以降議会・大統領選挙が予定されている。
- (10) 在留日本人 1,071人(2010年12月現在)
- (11) 気候 地中海性気候の北部海岸地方以外は砂漠性気候で、雨はほとんど降らない。5～9月が夏季、11～3月が温暖な冬である。春(4月頃)になると国中でハムシーンと呼ばれる砂混じりの熱風が吹く。首都カイロの年間平均気温は摂氏22度で、年間降雨量は24mm程度である。

【参考】
 『国別協力情報ファイル』 国際協力機構
 『外務省ホームページ-各国・地域情勢-』 外務省
 『最新世界各国要覧 10訂版2000』 東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要

住所 : 8th Floor, World Trade Center, 1191 Corniche El Nile St., Boulak, Cairo
 連絡先 : 国番号 : 20
 市外局番 : 02
 電話 : +20-2-25748240 ~ 2/25748244/27736090 ~ 1
 FAX : +20-2-25748243
 URL : <http://www.jica.go.jp/egypt/index.html>
 E-mail : eg_oso_rep@jica.go.jp
 執務時間 : 8:30 ~ 16:30 (昼休み12:00~13:00)
 休日 : 「(3) 祝日、官公庁の休日」に準じる。

事務所までの交通：

【空港から】

レンタカー若しくはリムジンの利用を勧める。

事前の予約がない場合、空港で通関後の待合エリアにあるリムジンカウンターで配車係に行き先を告げ、指示に従う。料金はLE80～LE120程度

タクシーの場合は、白地のメータータクシーが望ましいが、メーターでいかない場合もあり、交渉の場合はLE80程度が目安。

運転手には、「マルカズテッガーラ (World Trade Centerのアラビア語)」あるいは「フンドックコンラド (隣のコンラッド・ホテルのアラビア語)」と伝える。

【空港以外から】

レンタカー若しくはホテルリムジンの利用を勧める。

市内には流しのタクシーも多く、手を挙げればすぐに止まるが、外見、内装とも良好な車両は少なく、運転手も英語ができない場合が多く、利用しやすいわけではない。以前に比べ白地のメータータクシーが増えており、初乗り料金はLE 2.5。しかし、外国人旅行者に高値を要求する場合や、メーターが改造されているタクシーもあるため注意が必要。料金は、市内であれば、おおむねLE5～10程度である。

(2) JICA事務所周辺地図



(3) 日本との時差

日本との時差： - 7 時間

サマータイム：4月の最終金曜日から9月の最終金曜日まで実施される場合がある。
この場合、日本との時差は-6時間になる

(4) 祝日

祝日官公庁の休日： 1月 7日 コプトクリスマス

25日	Police Day
* 2月 4日	預言者聖誕祭
4月16日	イースター
* 4月25日	春薫祭/シナイ解放記念日
5月 1日	メーデー
7月23日	革命記念日
* 8月18日～8月21日	ラマダン明けの祭(イード・アル・フィットル)
10月 6日	戦勝記念日
* 10月25日～29日	犠牲祭(イード・アル・アドハー)
11月15日	イスラム暦新年
(2012年)	

印の休日はイスラム歴のために前後することがあり、毎年11日程度前にずれる。

官公庁の休日：上記祝日と金、土曜日

- (5) ビジネスアワー 官庁 9:00～14:30 (役所は金、土曜休み)
銀行 8:30～14:00 (窓口は金、土曜休み)
商店 11:00～22:00 (14:00～17:00に閉める店もある。金曜日は休業の場合もある)
- (6) 言語 業務：政府高官、知識人には英語が十分通用する。
ホテル、買い物、食事：一流店では英語が通用する。市場、一般商店などでは英語はほとんど理解されず、アラビア語(アンミーヤ)が使われる。
- (7) 通貨 通貨：エジプトポンド(LE) (1 エジプトポンド = 100 ピアストル)
- (8) 通貨レート 為替レート：1米ドル = 約LE 5.95 (2011年11月現在)
- (9) 関係機関 【在外日本関係機関】
・日本大使館
住所：81 Corniche El Nil Street, Maadi, Cairo, Egypt P.O BOX500
電話：02-2528-5910
URL：<http://www.eg.emb-japan.go.jp/>
【エジプトの関係官公庁】
外部の人間がいきなり電話をかけたり、メールを送りつけたりするのは礼に反する。また、オペレーター、秘書は英語が通じず電話をたらい回しにされることもある。初回以降も連絡を取り合う相手である場合は、携帯電話での連絡についての了解を得たうえで、携帯電話番号を取得しておく、以降の連絡が円滑に取れる。
- (10) 有用サイト <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のあるカイロの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

エジプトは中東随一の観光国で、カイロだけでもエジプト政府観光局が認める5つ星ホテルが20以上ある。なかにはこれが一流かと疑問を抱くホテルも若干存在するが、おおむね平均以上の設備、あるいはサービスを売り物にしている。

よく利用されるホテルは次のとおりである（詳細はPart3イエローページを参照）。なお、通常は、宿泊料金に、サービス料が12%、売上税が10%、市民税が2%、別途かかる。また、ほとんどのホテルで、主要なクレジットカード（VISA、MasterCardなど）の利用が可能である。



- ・Conrad Hotel（コンラッド）
- ・Ramses Hilton Hotel（ラムセス・ヒルトン）
- ・Semiramis Intercontinental Hotel（セミラミス・インターコンチネンタル）
- ・Safir Hotel Dokki（サフィール・ドッキ）
- ・Hotel Flamenco Cairo（フラメンコ）
- ・President Hotel（プレジデント）
- ・Horus Hotel Zamalek（ホルス）

1-2 住宅事情

多くは古くからの住宅地であるZamalek（ザマレク）地区と、ナイル川西岸のMohandeseen（モハンデシーン）、Dokki（ドッキ）に住んでいる。他方で、最近ではAgouza（アグーザ）、カイロ南のアメリカ人や韓国人等が多く居住しているMaadi（マアディ）などに住む人も増えている。これらの地区は、スポーツクラブに近く、外国人がよく利用するスーパーマーケットやレストランもひとつとおり揃っている。特にZamalekは、古い建物が多いが、各国の大使館も多く、そのため警備も行き届き、治安も比較的よい。住居としては、マンションの一室（フラット）を賃借する人が多い。



専門家の住宅

1-3 住宅の探し方

住宅を探すには、以下のような方法がある。

< 不動産会社を利用する >



日本人が多く利用している不動産会社は、Zamalek（ザマレク）にあるConserve Co.（電話：02-2735-1811、02-2736-2648）やMaadi（マアディ）にあ

るHome Country(電話:02-2380-3544)である。

まず不動産会社の事務所に出向き、自分の希望する物件を、地域別および値段別に分類されたファイルから選び出す。ファイルは物件ごとに、契約の条件や各部屋の写真、間取り図、位置を示す地図など必要な情報がまとめられている。選び出した物件について、不動産会社が家主とのアポイントを取り付ける。不動産会社の案内で物件を見るので効率がよく、3時間ほどで4～5件を見ることが出来る。ただし、不動産会社の責任はここまでで、フラットの賃貸契約は通常家主と借り手が直接行うため、契約条件交渉は不動産会社に任せずに自分で直接家主と納得のいくまで交渉して契約することが必要である。最初の契約事項は、後々のためにも非常に重要である。

契約は不動産会社立ち会いのもとに行われ、契約が成立すると、家主から不動産会社にコミッションが支払われるケースもある。Conserve Co.の場合、借り手から1か月分の家賃相当分がコミッションとして支払われている。

<在住日本人からの情報>

日本人会を含め、在住日本人の口コミなどを頼りに努力すれば情報は入るが、必ず自分の目で物件を確かめることが重要である。日本人がある程度評価した物件には比較的優良と思われるものが多いため、口コミ情報は重要である。

<日本人同士の引き継ぎ>

前任者のフラットをそのまま引き継ぐことも考えられる。斡旋会社への手数料が不要で、一から物件を探す手間も省ける。しかし、引継ぎ後のトラブルを避けるために、家具や備品リストの確認(特に家主保有の物品)や損傷箇所のチェックなどを、家主とも確認のうえ、入念に行うことを推奨する。

前任者の派遣期間終了までに間があり、前任者の住居を空き待ちする場合、ほかのフラットを短期間レンタルする場合もある。

<個人の斡旋業者を利用する>

個人斡旋業者を通じての紹介は多く、なかには日本人専門に斡旋している人もおり、日本人の好みをよく知っていて都合のよい面もある。しかし情報量は少なく、複数の業者を利用しても同じ物件を紹介されることが多い。注意すべき点は、コミッション(手数料)をあらかじめはっきりさせておくことである。黙っていれば、契約締結後に家賃の1か月分のコミッションを要求される。業者によっては、借り手の住居手当の限度額を聞き出し、そこまで家賃をつり上げる場合があるので、注意する必要がある。

<歩いて探す>

多少のアラビア語がわかれば、気に入った地域を歩いて探す方法もある。言葉に自信がなくても、フラットを探している旨をアラビア語で書いて門番などに見せると、物件を見られることがある。門番が鍵を預かっているところでは、すぐに部屋を見ることも可能である。

<インターネットで探す>

インターネット上の住宅情報検索も充実しており、不動産会社のホームページから気に入った物件を探した上で、実際に訪問することも効率的な家探しの方法と言える。

<長期滞在用ホテルに住む>

数は少ないが、数カ月～1年間の契約を取り交わし、住居とすることも可能である。家具や家電製品(テレビ、電子レンジなど)も備わり、メイドサービスもついている等、便利で、契約時や解約時のトラブルも少ないが、フラットに比べ料金はかなり高い。ザマレック地区にある長期滞在用ホテルHilton Zamalek Hotel(ヒルトン・ザマレク)では、1ヶ月US\$4,500(2～3ベッドルーム)の料金を設定している。

1-4 住宅選定上の留意点

一般的に日本人の感覚からすればかなり広い造りであり、かつ一見豪華に見えるが、焦らずに10件程度の物件を見て回ることをお勧めする。

1人のオーナーがフラット全体を所有している物件と、部屋ごとにオーナーが異なる物件もあるので、事前に確認しておくのが無難である。いずれのケースにおいても、オーナーが同じ建物内に住んでいるほうが、何らかの問題が生じた際の対応が早い。中には又貸しをする者もいるので、フラットの所有者を十分確認することが必要である。

フラット選定のチェックポイントを以下に記すが、これらは一般的なことであり、各自の優先順位と許容範囲を考えて選ぶとよい。自分が望む条件をすべて満たす物件はないと考えたほうがよく、1～2年住んでいる間に何らかの問題が起こる可能性は高い。よって、問題発生時に確実に対応してくれる家主かどうかを見極めることが、きわめて重要である。必要事項については、契約前に家主と十分に交渉し、契約書に明記しておくこと。

<フラット(建物)の入口と部屋の玄関の安全性>

照明や鍵、緊急時の避難口と方法等、自ら事前に確認しておくこと。念のため、玄関、各ドアなどの施錠状況を確認し、不備や不足等があれば、家主と契約時に交渉し設置してもらうこと。入居後は、玄関ドアの鍵を新しいものと交換することをお勧めする。

<騒音>

大通りや繁華街周辺、モスクのそばは避けた方がよい。モスクや祈祷所は、町のいたるところにあり、スピーカーから流れる朝昼晩の祈りの声から完全に逃れることは難しい。慣れてしまえば、深夜・早朝であってもまったく気にしなくなる人も多いが、音がかなり大きい場合もあるので、少なくともスピーカーの真向かいに住むことだけは避けることをお勧めする。

また、大通りに面していると、自動車等のエンジン音やクラクションに悩まされ

る場合も有る。モスクの音よりもこちらの騒音に悩まされている日本人も多い。騒音とともに、車が巻き上げるほこりや排気ガス等もひどく、悪い場合には咳が続く人もいる。

物件のそばに若者が集まりやすい喫茶店やレストラン等がある場合には、深夜まで大騒ぎしているケースもあるので、近くにそういう場所が無いが、予め確認しておくことをお勧めする。フラットの窓が大きく、かつ建付けが良くないために騒音に悩まされる、ということもある。

< 水回り >

水道パイプが古く質が悪いため、水はけの悪さや水漏れの苦情は非常に多い。パイプがさびていたり、壁が傷んでいたり、床が浮き上がっているところは、パイプに亀裂があり水が染み出ている可能性も高く、これらについては、十分な補修ができない場合もある。はじめから水回りに問題のある家は、選ばないほうが無難である。バス、トイレ、キッチンの水の出方や流れ方は、念入りに確認することをお勧めする。流し台の下も確認しておくほうがよい。

< 給湯設備 >

電気式が大半だが、最近では都市ガスによるものもある。

電気式の場合は、温水器の容量を確認しておくことをお勧めする。3人家族の場合、最低でも80リットルの容量で、2台は必要である。冬場に温水を使い切ってしまうと、水温が上がるまで2～3時間かかる。都市ガスの場合、換気などにさえ注意すれば、ガス湯沸かし器を使うことができ、容量の心配はない。

< 電話 >

ほとんどの住宅に電話が設置されているが、カイロ市内にしか電話できないもの、エジプト国内の長距離電話ができるもの、国際電話もできるものの3種類がある。国際電話を可能にするには、高額な加入料が必要であるため、住宅選定時に電話の種類を確認し、国際電話が必要な場合は家主に相談すること。2011年1月の動乱時には携帯電話・インターネットが不通となり固定電話が唯一の通信手段となったため、固定電話の整備を強く推奨する。

< 車庫の有無 >

駐車スペースの問題は深刻で、特に駐車場を設けているフラットは非常に少ない。多くの場合、路上に有料で駐車することになる。駐車スペースを探す場合には、家主とも場所等を確認すること。路上駐車の場合、車が傷ついたり、カーステレオなどの盗難の可能性もあるため、フラット付属のものでなくとも、屋内駐車場を借りることをお勧めする。

< 空調 >

日本製のエアコンはほとんどなく、多くはエジプト製である。外国企業のライセンスを受けてエジプトで生産されているものもあり、性能はライセンス生産されているもののほうがよい。物件を見る際に作動させて、稼働状況や機能を確認しておくことをお勧めする。なかには、音ばかり大きく全く涼しくならないものもある。

冬場のカイロはかなり寒くなることもあり、ヒーターとして使う場合もあるので、この点も確認しておくことが無難である。

<エレベーター>

日本のような内扉を備えたエレベーターは少ない。一般的に保守管理が行き届いておらず、故障は日常茶飯事であり、停電も多いことから、エレベーターを使用できない場合もある。住宅の高層化が進んでいる現状では、エレベーターを使用する頻度が多いため、エレベーターが2台以上あること、停電に備えてエレベーター専用の非常用発電装置を備えていること、高層階に居住しないことなども判断基準になる。

<フラットの方角>

南向きは、冬は快適だが夏は暑く、反対に北向きは夏はしのぎやすいが、冬は冷え込む。一年を通じて北側から風が吹き、南側から風が入らないという傾向にあるため、夏場の生活を優先して選ぶのが無難である。また、台所に窓や空調設備がない場合、夏季には蒸し風呂状態になることもある。通気性についてもよく注意し確認しておくことをお勧めする。

<最上階を避ける>

見晴らしはよいが、夏場は日差しが屋上に照りつける。天井から放射される熱は、夜になっても容易には冷めない。

<その他>

テレビやビデオ(衛星放送やNHK受信のことも考慮)、ガス(都市ガスかプロパンか)、マットレスの清潔さ、冷蔵庫・冷凍庫、換気扇、食器類、洗濯機、棚、ソファ、テーブル、椅子、シャワー、ノズル、シャワーカーテンなどの家具備品類の状態に気をつけること。

また、他の日本人や同じ家主の物件の住人から、家主についての情報を得ることが可能であれば、事前に情報収集しておくとうい。家主によっては、法外な家賃外手数料を要求したり、フラットの不具合に対応してくれないなどのトラブルが生じ得る。

1-5 住宅の契約

望んでいる条件を全て満たすフラットは、まずないものと考えて良い。どうしても自分の求めている条件を満たしたいなら、納得のいくまで十分に家主と相談することである。家具付き住宅といっても、揃えるべき家具に規定はないため、事前に他の日本人から家主が揃える常識的な範囲の家具・備品について情報収集してから家主と交渉するとよい。

家賃の相場は明確ではなく、「高い家賃 = よい家」とはいえない。同じ商品の値段が買い手と売り手の間柄によって変わるアラブ商法では、買い手が納得すればそれが正当な値段とされる。家賃1カ月分のデポジットと数か月分の家賃前払い(米ドル払い)を求められることが多い。家主によっては2年契約や、家具を

揃えるために半年分の家賃の前払いを要求してくることもあるが、契約後に不都合が起きた場合の途中解約でトラブルが発生する場合もあるので、1年を超える契約は勧められない。また、帰任の場合など、止むを得ず契約を途中解約する場合に備え、1～3カ月前の通知で解約できるという条項を入れておくのが無難である。

とにかく住んでみないとわからないことも多いので、最初の契約を2～3カ月にすることが可能であれば、とりあえず当該期間居住の後に、年間契約を結ぶか否かを決めるといった方法も交渉次第で成し得ると思われる。

賃貸料は、その時の需給状況でも変化する。特に夏場(6～8月)は、主に湾岸諸国からの避暑者がカイロに長期滞在するため、フラットの需給が逼迫し、家賃が上がることもある。

本来、デポジットは退居時に問題がなければそのまま返却されるものだが、実際には返却されるか否かはケース・バイ・ケースであるため、1カ月以上のデポジットを支払うのは避けた方がよい。

契約書は、市販のものは、難解な言葉や表現で理解しにくい場合があり、家主が作成すると偏った条項を盛り込んでくることもあるので、自分自身で準備する方がよい。

入居時には、家主が作成した備え付け家具の一覧表を双方で確認し、署名しておくこと。これは借り手の退居時に必要となる。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

水道、電話、ガス、電気代などの支払いは、必ず借り手払い(自己負担)とすること。都市ガスと電気料金については、家庭毎に毎月メーターのチェックがあり、その数日後に集金がある。プロパンガスの場合、通常はバツワープ(フラットの門番)に頼むと交換してくれるが、すぐに交換できるとは限らないので、プロパンを2つ常備しておくことと便利である。電話料金は「9-1電話」を参照のこと。通常、公共料金請求書はアラビア語で書かれており、支払い日、支払い方法などがわからないこともあるため、アラビア語を解する者に内容を確認してもらってから支払うとよい。

料金を滞納すると、供給を止められたり、追徴金を課せられたりすることがある。支払い方法は、家主と事前に十分に打ち合わせておき、間違いのないようにすること。

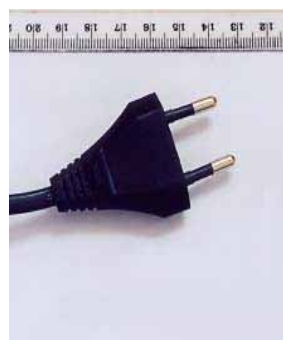
1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220V、周波数は50Hzであるため、電気製品を日本から持参する場合には、変圧器が必要になる。現地でも変圧器の購入は可能である。

(2) コンセント、モジュージャックの形

電気コンセントのプラグは丸形ピン2本(Bタイプ)が一般的であり、現地でも接続プラグの購入は可能である。モジュージャックは日本のものと形状は同じだが、大きさが2種類あり、アダプターを必要とするものもある。



差し込みプラグ220V丸形ピン2本(Bタイプ)



モジュージャック。大きさが2種類あり、アダプターが必要なものがある。

(3) 家電製品

主要な家電のほとんどは現地で購入できる。日本製、欧米製含めて多くの製品を購入可能であるが、関税がかけられているので、ものによっては日本に比べると1.5～3倍の値段となる。詳細は以下のとおりである。

・現地で調達できるもの

湯沸かし器、炊飯器、コーヒーメーカー、フードプロセッサー、パン焼き器、アイロン、ドライヤー、ミキサー、オーブン、トースター、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、ヒーター、テレビ、ビデオ、ステレオ、DVDプレーヤー、空気清浄器等。

家具付きフラットを借りる場合、上記のうち冷蔵庫、テレビ、ビデオ、洗濯機、冷房、掃除機などは大家が用意している場合がほとんどであり、場合によっては、ヒーター、ステレオ、アイロン台などが付くこともある。

1-8 家具保険

一般的に保険料は非常に高く、制度としても発達していない。家具については基本的に家主が提供するため、日本人が保険に入る必要性は低い。

1-9 その他

ちょっとした用事であれば、一般的に少々のバクシーシ(チップ)で、パワープ(フラットの門番)に頼むことができる。家主と交渉するほどでもない補修などが必要となった場合、彼らに依頼するとよい。値段は多少高いが、補修などを任せられる業者もいる。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

エジプトの気候は5月から9月が夏季、11月から3月が冬季となっており、季節に応じた衣服が必要になる。

首都カイロにはいくつかのショッピングモールがあるほか、衣料品の専門店も多く見られ、たいいていのが揃うが、全般的にサイズが大きめで日本人の体型

に合うものが入手できない場合も多い。

夏の暑さ対策には、帽子、サングラスの活用のほか、白を基調とした通気性のよい長袖の服があると便利である。イスラム国であるため、肌の露出の大きい服装は避ける必要がある。なお、外は真夏でも建物の中は冷房が強く寒く感じられる場合もあるので、薄手のカーディガン、シャツ等を用意しておくことをお勧めする。冬には、夜間の気温が5度以下に下がり、セーター、フリースといった保温性の高い衣服が必要になることもある。そもそも大半の住居は防寒対策がなされておらず、底冷えすることもあるので注意が必要(ホットカーペット、こたつといったものも役立つ可能性がある)。

(2) 日本からの持参をお勧めする衣料類

- ・下着(冬用の厚手の下着も含む) ・靴下、ストッキング・日傘
- ・サングラス(現地でも購入できるが日本人の顔に合うものを探しにくい)
- ・冬の室内履き ・フリース製の衣料 ・冠婚葬祭用礼服

(3) 現地で調達が可能で役立つ衣料

- ・女性用スカーフ(ピラミッド見学や砂漠などの埃よけ)
- ・エジプトコットン(綿)のバスタオルやベッドカバーなど
- ・女性用ロングスカート(日本では購入できないような長さ)

(4) その他の留意点

ランドリーサービス等を利用すると徐々に縮みが生じることもあるので、下着類等を含めてある程度数に余裕を持って用意しておくことをお勧めする。

2-2 礼装

(1) パーティー

エジプトでの礼装に対するきまりは、一般的にそれ程厳しくない。政府高官が出席する場合でも、ダークスーツ程度である。夏には半袖、ノーネクタイの人もあり、特にこだわる必要はないと思われるが、必要に応じ事前に主催者に確認しておくこと。日本人が出席する場合は、男性は落ち着いた色のスーツと黒い靴、女性はワンピースやカクテルドレスがあれば、大抵のケースでは問題が無い。

(2) 式典

パーティーと同様であり、良識のある服装とふるまいをすることが必要である。

(3) 冠婚葬祭

結婚式の披露宴、ディナーの場合も、基本的にパーティーと同じ。

不祝儀(葬儀)の場合、男性は黒系統のスーツに黒ネクタイ着用、女性は黒のワンピース、またはスーツを着用する。

(4) その他の留意点

手入れが簡単なフォーマル用の衣類を持参しておく、便利である。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

ドラム式の洗濯機を設置している住居が比較的多く、衣類の生地を傷める可能性がある。生地の傷みを防ぐには、洗濯用ネットを用いる、よい洗剤を使用することなどが挙げられる。洗濯物の乾燥は早く、日本の梅雨時のような心配はない。

クリーニング店は各地区でよく見かけ、多くは配達も行ってくれる。ドライクリーニングは、大型店、もしくは一流ホテルのランドリーに依頼する方が安心である。JICA事務所横のコンラッドホテルではスーツ上下でLE20。

(2) 仕立て、修繕

紳士服、婦人服ともに、テーラーで仕立てを依頼することができる。ただし、技術の高い店を選ぶことが重要である。修繕は店に頼むことができ、かけはぎ、裾上げなど、比較的うまく修繕してもらえる店もある。

(3) 保管

乾燥しているのでカビなどの心配はないが、ノミ、ダニが発生することもあるため、大切な衣料品がある場合には防虫剤の使用をお勧めする。現地でも防虫剤を入手することはできるが、においがきついため、日本から持参することをお勧めする。

2-4 美容院、理髪店

一流ホテル、ザマツレク、モハンデション等には、外国人が利用する美容院・理髪店がある。また、ホテル以外でも各地区に理髪店がよく見られ、安価でカット、ひげそりをしてもらうことができる。ただし、かみそりの使い回し、濡れたタオルをそのまま使用している、といった衛生状態が悪い店は避けることをお勧めする。

美容院では、客の希望どおりのイメージに仕上がらないといった可能性を下げするため、雑誌の切り抜き・写真といったサンプルを提示するのも、1つのアイデアである。事前に、他の日本人・外国人から評判のよい美容院について情報収集してから行くのが、無難である(詳細はPart3イエローページを参照)。

<美容・理髪用品>

美容・理髪用品は輸入品が多く、シャンプーもライセンスの国産品が入手できるが、コンディショナーなど必要に応じて持参したほうがよい。化粧品も輸入品が豊富にあるが、基礎化粧品等は自分に合ったものを持参することをお勧めする。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

一般的に、欧米流の各種サービスに対する「チップ」はある、と理解してよい。また、「バクシーシ」と呼ばれる小さなサービスに対する謝礼がある。

バクシーシを要求する人物に腹立たしさを感じることもあるが、時に人間関係をスムーズにしたり、物事を円滑に進めたりするために必要なこともあり、無視することはできない。元来、バクシーシはイスラム教の「持つ者が持たぬ者に対して物を与える」という習慣からきている点も、理解しておく必要がある。

(2) 各種サービスに対するチップ

レストランのチップは、ウェイターにLE1～2エジプトポンド、中・高級店では料金の5～10%である。ただし、サービス料12%が加えられている場合には、払わなくても差し支えない。ホテルでは、ボーイや枕の下に置くチップとしてLE3～5。トイレでは、LE0.25～0.5。

フラットなど住居ではバツワーフ(門番)にもものを頼む時にLE1～2の心づけを渡すとよい。しかし、回を重ねることにより、門番が既得権のように要求してくることもつながるので、気をつけること。ラマダン明けには、門番や使用人にLE20～30程度を手渡すのが習慣のようである。デリバリーの配達人にも、LE3～5の心づけを渡すのが一般的。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

カイロには、エジプト料理、レバノン料理、イタリア、フランスなどの西洋料理、中国料理、韓国料理の店があるほか、日本料理店も数軒ある。数は限られているが、トルコ料理、タイ料理の店等もある。

イスラムでは飲酒は禁じられているので、アルコールを出す店は限られており、飲酒を希望する場合は、事前に確かめてから店に入る必要がある。

喫茶店は、市内、ショッピングセンター内、高級ホテルに多くある。地元の人が水パイブをたしなむアホワと呼ばれる喫茶店は、アラビア語しか通じないケースが多い。

エジプト料理店では、コフタ(挽き肉の串焼き)やケバブ(香辛料を効かせた焼き肉)が主体であり、日本人の口にも合う。また、レンティルスープやモロヘイヤスープ、ターメイヤ(エジプト人が朝食に食べる豆のコロッケ)、鳩のグリルもエジプトの代表的な料理である。エジプト一般庶民が利用している店に行けば、1人あたりLE20もあれば十分飲食できるが、店は清潔とはいえない場合も多い。

フレッシュジューススタンドで売っているオレンジジュースやマンゴージュースも、美味で安価(LE1～2)である。比較的繁盛している清潔な店を選んで飲むこと。

夕食は料金がLE50ぐらいから、飲酒を伴うとLE100～150ぐらいで楽しむことができる。ピザ、フライドチキン、ハンバーガーなどファストフードの店もたくさんあり、これらのファストフード店はすべてデリバリーサービスを行っている(ピザハット、KFC、マクドナルドなど)。またナイル川沿いは、ベリーダンス、スーフィーダンス等のショーを見ながら食事ができるクルーズレストラン、固定船で内部に幾つ

ものレストランが入っているレストランもある。

(2) 飲食店

カイロでの各国料理店は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

< エジプト料理 >

 Yellow Page

- ・Arabisque(アラベスク)
- ・Abou El Seed(アブ・エル・シード)
- ・Bent El Sultan(ベント・エル・スルタン)
- ・Felfera Restaurant(フェルフェラ)
- ・El Omda(エル・オムダ)
- ・GAD



その他ホテル内、船のレストラン(以下の船のレストラン参照)にもあり。

< レバノン料理 >

- ・Taboula(タブーラ)
- ・Sabaya(サバヤ)
- ・Aladin(アラディン)
- ・Raoucha & Kandahar(ラウチャ&カンダハール)

< 西洋料理 >

- ・Justine(ジャスティン)
- ・Charwoods(シャーウッド)
- ・La Bodega(ラ・ボデガ)
- ・Tirol(チロル)
- ・Pano Vino(パノ・ヴィラ)
- ・Le Carnaval(レ・カルナバル)
- ・Blackstone Bistro(ブラックストーンビストロ)
- ・La Mezzaluna(ラ・メッザルナ)

< 中国および韓国料理 >

- ・Paxy(パクシー)
- ・Hana(ハナ)
- ・Chopstick(チョップスティック)
- ・Peking(北京)
- ・GAYA(ガヤ)
- ・China Wings(チャイナ ウィングス)
- ・Spice(スパイス)

< インド料理 >

- ・Kandahar(カンダハール)
- ・Maharaja(マハラジャ)

< 日本料理 >

- ・おかもと

- ・Jo Sushi (じょうずし)
- ・Torii(とりい)
- ・Mori Sushi (もりすし)
- ・Sapporo (サッポロ)
- ・Bob Sushi(ボブすし)
- ・Shogun(ショーゲン)

< タイ料理 >

- ・Thai Elephant(旧Sabai Sabai)・Lai Tai (ライ・タイ)
- ・Bua Khao (ブア・カオー)

< シーフード >

- ・ Fish Market (フィッシュマーケット)

< 船のレストラン(遊覧船) >

- ・ Nile Maxima (ナイル・マキシマ)
- ・ Nile Pharao (ナイル・ファラオ)

< 船のレストラン(固定式) >

- ・Le Pacha 1901 (レ・パシャ)
- ・Bule Nile (ブルーナイル)

< 喫茶店、カフェ >

市内 (Zamalek, Mohandeseen, Downtown, Dokki, ショッピングセンター内に多くあり)。チェーン店としてはSTARBUCKS、Cilantro、Beenos、Costa Coffee、Coffee Roastery、Marriott Bakery Café、Trianon、PAUL Café等。

< ファストフード >

マクドナルド、ピザハット、ケンタッキーフライドチキン、サブウェイなどのチェーン店が市内およびショッピングモール内に多数ある。

Otlobというデリバリーwebサイトから各種ファストフードのデリバリーが可能である。要初回登録。 <http://www.otlob.com/>

4-2 食料

(1) 一般事情

国民生活の安定を図るため、エジプトでは生活必需品にさまざまな補助金を出し、国民に安価で供給する政策をとってきている。その結果、国際価格と比べると、食料品をはじめとする生活必需品が安価である。但し、最近ではこれら生活必需品の価格改定が行われており、商品は軒並み値上げされてきている。

これらの商品は、ガマイヤ(公営商店)や個人商店で販売されており、品質的にはいまひとつであるが、安価ではある。但し、時には販売数量の制限もある。個人商店で扱っている商品の価格は若干高いが、商品に選択の幅があり、品質もよいケースもある。

スーパーマーケットでは商品に値札がついているが、市場や路上では値札が

ないことがあり、あったとしても値段は交渉で決まる場合が多い。値段交渉は根気が必要であり、またアラビア語しか通じないケースもあるため、数字や駆け引きに使う若干のアラビア語の習得は欠かせない。友人などにあらかじめ値段を聞いてから、買い物に行くといい。

また、衛生観念の違いから、食料品の取り扱いが日本と異なることがある。現地の日本人などからの情報で、なるべく商品の回転が速く、清潔な店を探して購入することをお勧めする。



市場の風景。さまざまな乾燥野菜や香辛料が売られている。

そのほかの商品についても、在庫管理状況等不明なケースも多いため、必要なものがある場合には、入手可能な時に購入しておくことをお勧めする。

(2) 主な食品の出回り状況

< 米、パン >

現地の主食は、米とパンである。

米は、日本と同じジャポニカ種もある。品質がよくなり、入手も容易になってきており、スーパーなどで入手できる。

パンの入手は容易である。エジプト人が食べているパンは、エイシュという丸い座布団のような形をしたものであり、カイロ市内では1枚25ピアストルほどで街角などで売られている。焼きたてのエイシュはたいへん美味である。

日本人になじみのあるパンは、ホテルや街のパン屋にあるが、おいしい店を探すのは容易ではない。食パン、ロールパン、クロワッサン、ケーキ類など種類は豊富である。一般にホテルのものはおいしいようであるが、その都度味やパンの固さが異なることもあるようである。気に入った店を見つけ、焼きたてを買うのがいちばんである。

なお、アラビामールやCity Stars等にあるPAUL CaféとZamalek等のTBSはなかなかの評判である。

また、ZamalekとMaadiに、MUNCH & BAGELという、ベーグルとサンドウィッチを扱う店舗がある。このベーグルは、在留邦人間で、美味しいと評判である。デリバリーも行っている。Zamalek: 02-2732-4392、Maadi: 02-2517-2518

< 肉 >

生鮮肉は、牛、羊、鶏、鳩、ウサギなど、さまざまなものを入手することができる(ラマダンなどの祭日を除く)。比較的安価であるが、牛肉より羊肉のほうが値段は高い。日本と異なり、どの部分を買っても、またこの店で買っても値段はほとんど同じである。商品の回転が速く、清潔感があり、対応のよい店を選んで買うのが賢明である。冷凍肉はスーパーマーケットに行けばいつでも購入できるが、冷凍管理が不徹底であるため、品質には十分注意する必要がある。

スーク(アラビア語で「市場」を意味する)では、注文すると鶏をさばいてくれる。

鳩も食用として販売されている。

イスラム教国であるため、豚肉類は一般的に販売されていないが、スイス人経営の豚肉屋がMaadi(マアディ)にあるほか、デリバリーを専門とするエジプト人肉屋からも豚肉を買うことができる。

<野菜・果物>

トマト、ナス、ピーマン、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、サヤインゲン、キュウリ、オクラ、キャベツ、ホウレンソウ、白菜、レタス、セロリなどの野菜や各種果物は、種類も豊富で、日本と比べて安い。ただし、収穫・出荷状況は季節により異なる。露天売りの野菜は、Zamalek(ザマレク)地区ではやや割高である。農薬を使っている野菜も売られているため、よく洗う必要がある。特にサラダなどにして生で食べる場合の葉野菜(レタス、キャベツなど)には気をつけたい。

モロヘイヤ、ガルギールなどエジプト特有の野菜もあり、慣れてくると重宝する。日本野菜(大根、白菜、カボチャ、ゴボウなど)は値段は高めだが、共同購入ができる。共同購入をするには、「日本野菜の会」(正式名称不明)に参加表明をすることから始まる。2週間に1回地域ごとに配達があり、その時の当番の家庭に届けられる。1単位が非常に多く、通常1家族では食べきれないため、複数家族でシェアするのが普通である。野菜1単位あたりLE70と市場で売られている野菜の5～10倍だが、手に入りにくい野菜をまとめて購入できるメリットがある。

大根、白菜は一部のスーパーマーケットでも購入することができる。そのほか、有機野菜の専門店もある。

果物は全般に美味しく、特に冬のオレンジ、栗、夏のマンゴー、メロン、スイカは格別である。

<魚>

魚類はAlexandria(アレキサンドリア)、Suez(スエズ)、Hurghada(ハルガダ)などから運搬されてくる。輸送距離はあまり長くないが、保冷車が普及しておらず取り扱いも雑なため、特に夏季には要注意である。種類は豊富で、タイ、スズキ、ウナギ、カツオ、シタピラメ、イカ、タコ、エビなどが購入できる。

生鮮魚は、一部のスーパーマーケットやスーク(市場)で購入できるが、新鮮なものを入手するのは困難である。カイロの下町にあたるAtaba(アタバ)のスークで、なるべく午前中に購入するとよい。それでも見極めができない人には生食は勧められない。また、冷凍鮮魚もあり、切り身も購入できる。

これまで多くの日本人がスーク側のほぼ言い値で購入してきたこともあり、魚の値段は最近上がり気味であるが、日本よりは安価である。

<乳製品>

紙パック入りの牛乳(フレッシュまたはロングライフ)、各種チーズ、ヨーグルトなどを、スーパーマーケットで購入できる。夏場の生牛乳は避けることをお勧めする。

ヨーグルトはプレーン、フルーツ入り、ドリンクタイプなどの種類があり、安くてお

いしい。購入の際、密封状態をよく確認する必要がある。

<調味料>

砂糖、塩、油などの調味料は、スーパーマーケットで購入できる。みりん、料理用のお酒はない。その他の香辛料は調達可能であるが、かつおぶしや煮干しといった和食のだし汁用の調味料は、入手が難しいか、あっても大変高額となる。塩も精製塩しか置いていない。

<加工食品>

ハム、ベーコン、ソーセージ類が入手可能である。一般に売られているものは豚肉を使用しておらず、すべてビーフ、ターキー、チキンなどの加工品である。一部に豚肉の加工品を取り扱っている店もある。

缶詰類などの食料品も豊富であり、容易に入手できる。

<日本食料品>

乾麺、インスタントラーメン、豆腐、しょうゆ、みそ、缶詰、瓶詰、だしの素、昆布、カレー、シチューなどが売られている時もあるが、在庫が安定していない。必要なものは持参したほうが無難である。

<アルコール>

エジプト国産ビールとワインが、特定の店(酒屋)で購入できる。国産ビールは500ミリリットルでLE8、国産ワインはボトルでLE50ほどである。

ウイスキー、ブランデーなどの洋酒類や輸入物ワインは、一般には市内では購入できない。外国人は入国後(再入国を含む)48時間以内であれば、空港または市内の免税店で20歳以上の成人1人1回に限り、輸入缶ビール(1ケース)および洋酒類(3本まで。ただしビールを購入した場合は2本まで)を購入することができる。

<飲料水>

水道水は、一度煮沸させれば飲用しても問題ない。エジプト国産のミネラルウォーターも1.5L入り1本LE1.5ほどで容易に購入できる。

(3) 食料品の入手

食料品は豊富にあるが、輸入品とエジプト産で価格が大きく異なる。輸入品の価格は、日本におけるそれと同様か、ものによってはそれ以上であることもあるが、エジプト産の食料品は大半が安価である。スーパーマーケットも、Zamalek(ザマレク)、Mohandeseen(モハンデション)、Maadi(マアディ)などの地区に多数できている。

(4) デリバリー業者一覧

Gourmet Egypt

牛肉やシーフード(イカ、エビ、白身魚など)、枝豆、刺身(マグロ、サーモンなど)、そば、うどん、醤油が買える。ザマレクにも店舗ができた。

7 Badr Towers, Ring Rd.Landmark: beside Carrefour
Zahraa El Maadi, Maadi, Cairo

Km 28, Landmark: Inside Dandy Mega Mall
 Cairo Alex Desert Rd., Giza
 TEL: 19339

Dina Farms

独自の農場を持っており、そこで製造・収穫された牛乳や野菜が買える。

19 Amin El Rafeay St. el messaha sq.

Landmark: Beside Embassy Of The Republic Of Yemen
 Dokki, Giza

20 El Gazaer St. Off Gamaet El Dewal El Arabeya St.

Landmark: Beside Atlas Zamalek Hotel
 Mohandeseen, Giza
 TEL: 19642

Isis (Organic & More Supermarket)

オーガニック製品(野菜、牛乳、ジャム、ジュースなど)や洋服も買える。

8 Ahmed Sabry St. Off Brazil St. Landmark: Beside Mobaco Cottons
 Shop Zamalek, Cairo

TEL: 02-27382724

TOMATO

韓国食材店。明太子(80LE/1pack)や冷凍餃子、豆腐、素麺、韓国海苔などが買える。

26 Road 232 Maadi

TEL: 0100-363-8747

豚肉デリバリー(鹿野さん)

豚肉(とんかつ用、ひき肉 各70LE/1kg、豚バラ80LE/1kgなど)やベーコン、鶏ひき肉、飲茶が買える。配達の日時に関しては、要確認。

E-Mail: ruikokano@yahoo.co.jp

主なスーパーマーケットは次のとおりである。



- ・Metro (メトロスーパー)
- ・Alfa Supermarket (アルファスーパー)
- ・Carrefour (カルフル)
- ・Spynees (スピニーズ)
- ・Hyper one (ハイパーワン)
- ・Sauji (サウジ)

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

洋食器類は、エジプト製、ヨーロッパ製、中国製、台湾製を含め、ひとつお揃い揃えることができる。ガラス食器類も比較的品質のよいものが入手可能である。和

食器は入手することはできない。

調理用器具は、鍋やフライパンなどはエジプト製のほか欧州製品が入手できる。ガスレンジ、オーブン、トースター、ジューサー、圧力釜など、輸入製品、エジプト製品ともに購入可能である。そのほかの電気製品も輸入されているが、エジプト製、台湾製、東欧製などは品質が一定していないので、購入の際に気をつける必要がある。電気炊飯器、電気プレート類も、品数は少ないが購入は可能である。

ラップ、アルミホイルなどは、質にこだわらなければ入手できる。洗剤類もひとつとありあるが、それぞれ効力がたいへん強いので、希釈して使う人も多い。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

和食用の食器類はまったく入手できないので、茶碗類、皿、小鉢、はし、急須は必要に応じて持参したほうがよい。

包丁類はこちらでは性能のいいものが入手できないので、最低1本は持参したほうがよい。まな板は入手可能である。

中華料理用具(中華なべ、蒸し器など)はほとんどないので、必要であれば持参することを勧める。

たとえ現地で購入できるものでも、調理器具類にかかわらず、使い慣れたものは持参したほうが安心できる。鍋セットなどを持参すれば重宝する。

また、食料品を貯蔵しておく場所においがこもることもあるため、脱臭剤があると重宝する。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

日本製、欧米製含め多くの製品が購入可能である。高い関税がかけられるので、ものによっては日本に比べると1.5～3倍の値段となる。東芝が技術協力を行なって生産しているエジプト製家電もある。それらは質も高く使い勝手もよい。

家電製品は、大型スーパーマーケットやショッピングセンター、大手電気店、Ataba(アタバ)のスークにある電気街で購入できる(詳細はPart3イエローページを参照)。

Yellow Page

- ・Carrefour (カルフルール)
- ・Alfa Supermarket (アルファスーパー)
- ・City Stars (シティースターズ)

5-2 家具

ほとんどの場合、家具はフラットの家主が提供する。入居の際、足りないもの、代えてほしいものなどがあれば家主と相談するとよい。

5-3 日用品、雑貨

ほとんどのものが街角のスーパーマーケットで購入できる。ただし、例えば日本製の文房具等品質のよいもの、機能的なものは、置いてある店に限られる。

5-4 工具、素材など

電球や蛍光灯などはスーパーや専門店で購入できる。観葉植物なども街の専門店で容易に購入でき、その他工具、リフォーム用品、水回り、日曜大工道具もカルフルなどのスーパーでも購入可能。

質を問わなければ、日本のDIYで販売されているものはすべて揃うと考えてよい。

 Yellow Page ・DARY (Building & Decoration Shopping Center)

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

現地では、国営、民間、外資系の商業銀行が、一般顧客向けサービスを提供しており、これらの銀行に口座を開設できる。東京三菱UFJ銀行と三井住友銀行が駐在員事務所を開設しているが、一般顧客向けサービスは提供していない。

1991年に為替規制が撤廃、国内銀行の外貨建て口座の開設が自由化され、93年には銀行法改正により、外国銀行の支店でエジプトポンドの取り扱いが自由化された。このため、現在はドル建て口座、エジプトポンド建て口座とも自由に開設できる。

 Yellow Page

エジプト国内の銀行のうち、Citibankは関係者の利用が圧倒的に多く、HSBCの利用者も増えている。日本の銀行に比べ正確性に劣るため、取引金額の間違いや予期せぬ手数料の引き落としなど取引内容の確認は不可欠であるが、大きなトラブルは報告されていない。

米ドル建て口座への現金預け入れ、払い戻しも手数料はかからないが、CitiBankの場合、口座維持手数料が月\$3ドルかかる(残額が\$1,000以下の場合\$6)。特に払い戻しはATMが24時間稼働しており、夜間、休日でも手数料なく払い戻せる(1日あたりの払い戻し限度額あり)。また、ATMが米ドル現金を取り扱っていない場合は払い出し日のTTBレートで換算したエジプトポンドが払い戻せる)。ATMでの払い戻し限度額(US\$1,000/日)を超える現金を出金する場合は、窓口で手続きする。

エジプト着任後すぐに必要となる現金(米ドルが便利)の目安は以下のとおり。

個人口座開設用(普通預金口座) : 1000米ドル

住居の前払い金(通常3カ月分と1カ月のデポジット) : 8000米ドル(米ドル現金払い。家賃が2000米ドルの場合)

当座の生活費 : 5000米ドル

(2) 口座の開設と閉鎖

普通預金口座(Saving Account)を開設し、ATMカードで現金で引き出すことが一般的。預金通帳はなく、銀行によっては定期的に残高通知と取引明細が郵送される。

口座開設時の最低預入額は、米ドル建て口座で1,000~1,500米ドル、エジプトポンド建て口座でLE1000~10,000程度。

口座開設時は、着任後エジプト国内で更新したビザ・パスポート、住居契約の写し、(可能であればあれば)パスポート以外の写真つきID、開設に必要な現金を持参し、窓口で必要書類に記入する。30分程で口座開設とATMカード発行が完了する。

口座を閉鎖する場合は、窓口で必要書類に記入し、残高、利息、手数料を精算し、現金を受け取る。

(3) 小切手・振込

小切手は企業間の取引には活用されているが、個人の支払いや送金にはほとんど利用されていない。小切手の資金化に時間と手数料がかかるため、支払い方法として受取人から好まれていない。(小切手を受け取った場合、受取人の銀行口座に入金して取り立てるか、振出人が口座を持つ銀行に提示して現金化する)さらに、振出人の信用力を調査する方法もなく、受取人にとっては取引方法としてリスクが高い。

小切手を作成するには、当座預金(Current Account)を開設して小切手帳を発行してもらい、登録したサインを記入して開設した口座の通貨建てで発行する。きわめて簡単であり、誰でも利用できるが、普及していない。

他行への振込は手数料が高いため、利用時には留意が必要。

(4) 換金方法

米ドルは広く流通している。家賃、ホテル宿泊費、航空運賃、輸入品等高額商品などの大きな商取引は、米ドル建て払いあるいは米ドル換算のエジプトポンド建て払いとなることが多い。

米ドル現金からエジプトポンド現金への両替は、銀行のほか、両替商も多く、どこでも可能である。銀行よりも市内の両替商の換金レートのほうが有利といわれているが、レートの差はほとんど見られない。

日本円現金からエジプトポンド現金への換金も可能である。当然ながら、エジプトポンドから日本円への両替は不可能。

6-2 クレジットカード

一般の商店では加盟店が少なく使用できないことが多い。カードの使用は外国人や高額所得者向けのレストラン、商店、ホテル、大中規模スーパー等に限られる。カードを使用できる店では、VISA、MasterCardなど欧米系のメジャーなカードであれば、通用するケースが多い。

また、米ドル、エジプトポンド現金のキャッシングも利用できる。ATMは、ホテル、ショッピングセンター、銀行の主要な支店に設置されている。ただし、ATMが米ドルに対応していない場合には、エジプトポンドの引き出しに限られる。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

カイロ市内では、レンタカーやリムジンによる移動手段があるが、その他、鉄道・軌道系として地下鉄(メトロ)、路面電車、道路系として公営の大型路線バス、民営のマイクロバス、タクシーが営業しており、レンタカーやリムジン以外は、どれも日本と比較して料金は非常に安価だが、車両は汚く、慣れないと利用しづらい。

市内にはラムセス駅やギザ駅を代表としていくつかの国鉄駅があるが、基本的に都市間輸送を目的としているためダイヤが閑散化しており(普通列車で30分~1時間おき)、市内移動には向かない。地下鉄は、現在2路線(1号線:カイロ北東部~カイロ南部ヘルワン、2号線:カイロ北部~ギザ)が開業しており、中心部の2駅で相互に乗り換えが可能である。両線ともに高頻度運転がなされており利用価値は高い。路面電車は料金は安価(LE1以下)だが、頻度・速度といった質が非常に悪く、路線も不案内であり、また日本人居住者の少ないカイロ北東部を中心とした路線網のため利用しやすくはない。

大型路線バスは路線番号、行先掲示、バス停案内の全てにおいてアラビア語表記であり、また事故や怪我の恐れもある走行中のバスへの飛び乗り降りもあり、慣れるまでは使いづらい。マイクロバスは市内を縦横に路線網がカバーしており、経路上であれば乗客の希望の場所で乗降ができ、また乗降時はほぼ停止して貰えることから、慣れれば非常に使い勝手が良い。タクシーは白地にチェッカーフラッグ帯のメーター制と、白黒ツートンの交渉制のものがあり、状況に応じて使い分けることができる。市内には夜間でも十分な台数の流しのタクシーが存在する。

自家用車については、近年、登録台車数が100万台を超え、道路や駐車場施設の未整備と相まってカイロ等大都市および大都市を連絡する高速道路では渋滞が日常化している。また、自動車の接触事故は、当地では事故とされていないほど多く、年式が古いわりに整備・点検が不十分な車も多く、故障車が道路を塞ぎ渋滞に拍車を掛ける光景も日々見受けられる。これら整備不良車は大気汚染の原因にもなっている。

カイロを起点に自動車道路が整備されており、アレキサンドリアへの片側5車線のデザートロード、イスマイリア道路、スエズ道路、アインソフナ道路、アシュートまでのデザートロードイースト、デザートロードウエストがある。特に、アシュートまでのデザートロードイーストは、アーミーロードとも呼ばれ、最高時速120km/h、片側3車線で400kmを繋いでいる。また、ルクソール・ハルガダ間の山岳道路も

整備されている。

ナイルデルタおよびCairo(カイロ)からAswan(アスワン)に至る上エジプト地域(ナイル川沿い)約800kmの間は、航空機か鉄道が一般的であるが、自動道路も整備され、比較的移動交通モードのバリエーションが整備されているといえる。

<地下鉄>

1987年に開通し、1号線がNew El Marg(ニュー・エル・マルグ)とHelwan(ヘルワン)間、2号線はShobra El Khima(ショブラ・エル・ケイマ)とEl-Mouneeb(エル・モニーブ)間で運行している。両線の両端郊外部は地上を走るの、「地下鉄」というよりは「都市高速鉄道」という位置づけが強い。車両は日本製に順次置き換えられており、両線とも中間に2両の女性専用車両が組み込まれている(1両は終日、1両は時間限定)。

料金は全区間統一料金LE1で、両線は市内中心部の国鉄ラムセス駅前にあるEl-Shuhada(革命後に名称変更:古いガイドブックではMubarakと表記)とタハリール広場にあるSadat両駅の改札内で相互に乗り換えが可能である。運行本数は両線共にラッシュ時2~3分毎、日中5~7分毎で、渋滞している道路に比べれば時間が読める分便利なため、日中でも空席を見つけるのが難しいほどの混雑である。

1号線は発車ブザーが無く、乗降客がいても強制的にドアが閉められたり、乗客にも整列乗車という概念が無いため、乗り降りこぼしがまま発生する。このため混雑する時間や乗降客の多い駅では、駅、車内ともに早めにドア付近に移動した方が無難である。なお、国鉄ラムセス駅を除き、地下鉄駅とは他の交通機関(特に大型路線バス乗り場)との連絡が悪い。

計画では2012年1月下旬に、市内中心部2号線のAttaba(アタバ)駅から北東ヘリオポリス方面への3号線フェーズ1が、2015年頃にはそこからヘリオポリス中心街まで延長するフェーズ2がそれぞれ暫定開業する予定である。この3号線は日本人が多く住むZamalek(ザマレク)地区やMohandeseen(モハンデション)地区を縦貫するフェーズ3やカイロ空港まで延伸するフェーズ4はまだ建設に着手しておらず、従って開業は当面先のことある。

<タクシー>

市内では流しを中心に多く走っている。白地にチェッカーフラッグ帯のものと黒と白のツートンで塗られた車で見つけやすい。マイクロバスを含め、商用車の目印は橙色のナンバープレートなので、外見から自家用車との区分が可能である。

チェッカーフラッグ帯のタクシーはメーター制になっている。基本的にメーターはついており、故障している場合を除き、メーターを回すように指示すれば回し、表示された料金のみを要求してくる。指示に対して回さない場合は降車して次のタクシーを探せば良い。公定料金があり、初乗りLE2.5、その後は時間と距離の併用で課金されていくため、渋滞で滞留するだけでも課金は止まらない。

白黒のタクシーは交渉制となっており、乗車にはそれなりの土地勘と慣れが必要である。特に外国人は、高めに請求されることが多い。4km以内はLE5、それ以上は2kmごとにLE1～2追加と目安をつけておけばよい。どのガイドブックにも、乗る前に値段を交渉するように記載されているが、車を降りてから窓越しに自分の決めた金額を支払う方が、揉めた場合のその後のトラブルが回避しやすい。基本的にチェッカーフラッグ帯と比較して整備が行き届いていない古い車体が多く、ドアがはずれたり突然開く場合もあり、白黒のタクシーは勧められない。

料金の目安は、Zamalek～Ataba間がLE10、Zamalek～空港間がLE50～、Zamalek～Mohandeseen間がLE5～、Zamalek～Giza間がLE20～である。

<バス>

バスには3種類あり、都市間大型バス、市内大型路線バス、マイクロバス(中型バス、ワゴンを含む)に大きく分けられる。

都市間大型バスは市内に複数あるバスターミナルから時刻表に則って運行されているものの、都市間直結のため市内の移動には向かない。

市内大型路線バスは約300系統で6:00から24:00まで運行しており、運行形態(方向)により黄緑色のバスと赤色のバスの2種類がある。市内のバス停は路側に多数があるが、自分の乗りたいバスには乗る意思を表示して減速させる必要がある。基本的にバス停では徐行するだけで、また路側まで寄ってこない場合も多いので、乗降の際には足元、周りの交通、動いているバスへの飛び乗り等かなりの注意が必要である。

バス停には最低アラビア数字で路線番号が記載してあるものの、行先まで記載してあるバス停は一部である。もちろんダイヤの記載は無い。基本的に英語は通じず、路線番号を含めて行き先表示は全てアラビア語のみであるため、路線を理解することは困難であるが、特定の路線番号を暗記さえすれば決して利用が不自由なわけではない。

市内の主な系統は次のとおりである。

- ・13系統 : Zamalek～Midan Falaky (ファラキ広場)
- ・23系統 : Zamalek～Ramsis (ラムセス)
- ・27系統 : Ataba～26 July St.～Zamalek
- ・167系統 : Midan Libna (レバノン広場)～Tahrir (タハリール)
- ・175系統 : Abaseya (アバセイア)～Zamalek～Imbaba (インババ)

料金はLE0.5～2ポンドであり、車掌が常務しているために車掌に申し出て領収書と引き換えに支払う。

マイクロバスは市内をくまなく網羅しており、また希望の場所で乗降可能なため市民の利用率は高い。使用車種はカイロ市内においては、日本で言うところの中型トラックの荷台部分が客室になっているタイプ(15人程度)とワゴンタイプ(15人程度)となっている。ナンバープレートがタクシーと同じく営業車を示す橙色のため、よくありがちなツアー会社のワゴンとの区別は遠目から可能である。

白、青、緑、赤の車体の色で大まかな方向別となっており、詳細な経路は各マイクロバスの前または後ろに小さなステッカーでアラビア語で記載している。このため走行中のマイクロバスを見た目で先行判断するのはほぼ不可能である。運転手やその仲間が大声で先行を連呼しているため、マイクロバスのターミナル的(常習的に終着点になっている)場所や経路上には路側から乗車の意思表示をして停車させた上で先行を確認して乗車する。始発場所では客待ちをして満席になってから出発する。掴まり乗車や立ち乗り乗車も可能であるが、運転が雑な場合が多く、振り落とされたり転倒しないためにも、着席乗車できるバスまで見送るのが望ましい。

距離に応じて金額はLE 0.5~2だが、市内の主な路線は基本的にLE 0.75。たまに車掌役の少年が同乗している場合もあるが、基本的に信用乗車に基づいており、乗客が後方から手渡しで互いに集金しつつ、運転手近辺の人が最後にまとめて支払う慣例となっている。

< 路面電車 >

カイロ市が運行しているが、日本人の少ないHeliopolis(ヘリオポリス)地区やShubra(ショブラ)地区に路線網が広がっているため利用機会は限られている。

(2) 空港から市内への移動

空港に乗り入れている路線バスやマイクロバスは無い。このため一般に日本人は、レンタカー若しくはリムジン、または流しのタクシーを利用している。

リムジンはLE80~120、タクシーはLE80~(市内から空港の場合はLE50~)である。空港への車両乗り入れには別途5LEを要するため、その取扱いを最初に取り決めておいた方が後々揉めにくい。

(3) 自家用車

車の普及度は高く、女性の単独運転も老若を問わず一般的である。自分で運転する場合は、国際免許またはエジプトの国内免許を取得した上で運転する。

エジプトの運転マナーが悪く危険であるといわれる最大の要因は、多くのドライバーが車線が無視して少しでも他車より早く先に進もうとすることと、追い越しや車線変更がウインカーも出さずに行われている。合流や交差点は先に突っ込んだ者勝ちであり、複数の車線をまたいで被せるように直前に右左折する車も多い。基本的に交差点と信号で交通処理する日本に対し、中心部を除きロータリーやUターンによる交通計画がなされていることから日本と勝手が随分と違う。

信号機は存在するものの交通警察が立っていれば警官の指示が優先されるため、信号機はほとんど機能していない。右折は、信号機や警官の指示にかかわらず常に可能である。下手に赤信号で自発的に止まれば後続車に追突される可能性も有り得るため、停止前に後方確認を要する。逆にこちらが青信号でも横から突っ込んでくる車がいると考え、常に注意を怠らないことと、信号機を無視した指示を出す交通警察の存在の有無に注意することが重要である。

ロータリーは欧米諸国の基本ルールであるロータリー内部の車優先という概

念は全くない。このためロータリーを囲んで渋滞が互いにお見合いする状況や、外から内、内から外への割り込みが縦横無尽に発生し、内輪差も生じることから接触事故が多いポイントとなる。

都市間高速道路では要所にUターン場所が設定されているため、追い越し車線にUターンしたい低速車が割り込んで来たり直前でブレーキを掛ける車が多々あり、またそれを原因とした渋滞が追い越し車線で起こることがある。他には高速道路にも関わらずをバイク、オート三輪、トゥクトゥク、馬車、ロバ等が時には逆走して来たり、歩行者が横断する場合もある。車線の真ん中で車が故障して停車している場合もある。いずれにせよ日本では考えられないリスクが多々生じる。

市内、都市間問わず、分合流やUターン場所近辺には速度抑制のためのランプが大小多数設置してある。設置場所の注意喚起が無い場合も多く、知らない経路でかつ夜間の場合は、気付かずに突っ込んでしまってタイヤがパンク、最悪車体の挙動が制御不能になってしまうこともあるのでこれも注意が必要である。

夜間是对向車の眩目回避のため、ヘッドライトを消灯している車も多い。整備不良によるテールライトの球切れも相まって、周辺車両に気付くのが遅れることも想定されることから、夜間の運転は極力避けた方が安全である。なお、事務所としては自動車の運転には本邦では考えられないようなリスクが伴うため、極力自分で運転しないようにしている。

(4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーは運転手付きでも、車両のみでも利用できるが、交通問題を考慮すると運転手つきが無難である。運転手付きでも安価である。

レンタカー会社は、大手の系列から個人営業に近いものまである。一部の大手を除き、信頼性についてはいずれも今一つ。ホテルに紹介してもらうか、直接レンタカー会社に電話をするのが一般的である。

料金は日建てがほとんどで1日あたりLE200程度である。カイロ市内は130km走行まで一律というケースもある。ガソリン代が安いと、満タン返しといったシステムはほとんどない。100Km以降のKm当たりの追加料金の単価はLE3~5と非常に高いと、地方に出かける場合には非常に割高になる可能性がある。

仮に予約時点で英語のわかる運転手を指定していても(大手レンタカー会社といえども)、流暢に英語で会話することが可能な運転手がやってくるかどうかは、その時々によると考えた方がよい。大手会社に多いが、料金システムが細かいところほど、精算してみると高くなる。また、多くのレンタカー会社は、安く見積もって高く精算するという傾向が強い。「1日市内でいくら」といったシステムの会社を利用する方が、安価で利用し易いと思われる。

待機してもらう時は、所要時間を明確に伝えておいたほうがよい(付近に駐車できない場合、運転手が休憩や礼拝のために遠くに行ってしまう可能性もあることから、早めに指定場所に戻らせておいた方がよい)。

主なレンタカー会社は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・Hertz
- ・TOP
- ・Way
- ・Seif

(5) 歩行者

道路構造はロータリーやUターンが多用されており、そもそも日本によくある交差点や信号が非常に少ない。これは即ち歩行者にとって道路横断に適した場所が非常に少ないことと同義であり、実際交差点においても横断歩道はほとんど存在しない(道路標識上は横断歩道が存在していても路面表示が消えている場合がほとんど)。このため、地下道や歩道橋が整備されている場所以外は、基本的に横断歩道以外の箇所でも道路を横断する必要がある。

市内の幹線道路は名目2車線以上が多く、実質は車線を無視して走行しているために4~5台が幅ギリギリで並走する状況である。この幹線道路を横断することは、慣れないうちは非常に危険であるため、慣れるまでは他のエジプト人に付いて集団で横断する方が単独よりは安全である。車の運転手の立場から考えると、車側で横断者を避けるように判断するため、横断者は通過する個々の車のどこ(前後)を横断したいのか、アイコンタクトや身振り手振りで明確に意思表示する必要がある。この際、横断者が躊躇してしまうと車側にも迷いが生じ、互いに見合って最悪突っ込んでくる恐れもあるため覚悟が必要である。

市内中心部は比較的歩道が整備されているが、それでも凹凸が多く、また敷石やマンホールが外れている場合もあるため、特に夜間は足元に注意しがちであるが、路側の駐車場や脇道からは、車やオートバイが勢いよく飛びだしてくる場合もあるので、歩行を歩いている前方・下方・左右だけでなく、常に後方への注意が必要である。また、革命以降の警察力低下に伴い、市内に路上駐車が增加しているが、駐車を試みようとしている車は注意力が散漫しているため、そのような車両には無理に近づかないか、運転手に対して十分存在をアピールしておく注意も必要である。

(6) 地図

ヨーロッパ製のエジプト全土地図を利用するとよい。カイロ市内やアレキサンドリア市内であれば、アハラム社の観光地図をホテルなどで入手可能である。

本格的な道路地図としては、『Mobil Motoring Guide to Egypt』があるが、版が古く、かつあまり見かけない。カイロの市内地図としては、『Cairo A-Z』(The Palm Press)や『Cairo Maps』(The American University in Cairo Press)があり、ホテルや洋書を扱う書店で購入できるが、掲載範囲に限られる。

鉄道路線図や長・短距離各バス路線図は、駅・本屋でも販売・配布されていない。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

警察署に通報する必要があるが、事故調書は警察官(通常は英語を理解しない)によってアラビア語でのみ作成されるため、かなりアラビア語を理解できない限りにおいては、本人だけで対応することは困難である。このため、警察署に通報する。

(2) 救急病院

国立病院、大学病院や、外国人がよく利用する私立病院でも救急医療が可能である。救急外来が整っている病院は、次のとおり(詳細はPart3イエローページ「10.病院」を参照)。



・As Salam International Hospital

・Misr International Hospital

公共の救急車が必要な場合は、救急車手配センター直通ダイヤル123、カイロ県の770123、ギザ県の5615551、アレキサンドリアの123に連絡し、救急車を呼ぶことが出来る。ただし、救急車がすぐに来るとは限らず、病院が所有する救急車、もしくは知人の車で移送したほうが早くて確実といった場合も有り得る。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

盗難に遭った場合は、速やかに警察に届けるのはもちろんのこと、必ず背後関係を考えること。知り合い等が手引きをしていた、という例も実際にある。

警察による車両とその名義人のチェックが厳しいこともあり、比較的盗難車の発見率が高い。逆に、自動車の名義人以外が運転する際は、所有者からの委任状か運転者に対する保険証書を常に携行しておく必要がある。過去に、運転手が雇用主の家族(雇用主本人を除く)を乗せていて検問に遭い罰金を科せられた例もある。

一方、車の中に置いてあったものが盗難に遭うということも有り得る。昨今は窓を割って強奪する事例も生じているため、車内の特に目に見える場所にそもそも物品を置いておくことは、避けた方が良い。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

交通は右側通行である。交通標識の内容は日本と大差ない。最高速度は市内60km、市外90kmが多い。市外ではいわゆる「ネズミとり」も行われている。

駐車違反の取り締まりは多く、カイロ市内ではレッカー車がよく見かけられる。検挙されるのは速度違反、駐車違反、一方通行違反がほとんどである。

注意すべきはシートベルト未着用(助手席も同様の義務)LE100以上300未満の罰金が科せられる点と車輛に三角停止表示板、救急用品及び消火器の所持が義務化された点(罰金LE100以上300未満)である。

昨今の事例としては、窓のスモークが車両証に記載していなかったとして摘発

されたことがある。

(2) 罰金、罰則

罰金は1年ごとの車両登録更新の際、場所・日時を付して請求される。

7-4 車の修理

(1) 部品

フィアット、プジョー、ベンツなどの国内組立自動車や、エジプト国内で販売量が多い「三菱ランサー」「トヨタカローラ」などの特定車両はスペアパーツが比較的容易に入手できることが多いが、それ以外の日本車の場合には、入手困難なことが多い。

このため、車を購入または個人輸入する際に消耗品類(フィルターやコンデンサーなど)もあわせて注文しておいたほうがよい。

(2) 修理工場

軽微な修理であれば、市内の大手メーカー系ワークショップで可能である。その他の修理工場では、その場しのぎの修理は安価でできるが、根本的な修理では無いため、後々再修理が必要となるケースも有り得る。へこみなどの外観の補修は迅速に、しかも安価に行ってくれる。塗装全面塗り替えがLE800ほどである。

日本人がよく利用する修理工場は次のとおり。



・Fuji Industry Co.

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

一般加入電話は、Telecom Egypt社のみが免許を持ち、独占営業している。国営エジプト電話電信会社(Egyptian Telecom)から1998年に民営化された会社である。携帯電話は外資合弁のMobinilブランドのThe Egyptian Company for Mobile Services社、Vodafone Egypt社、Etisalat社の3社が営業している(詳細はPart3イエローページを参照)。

エジプトの電話事情は改善されてきており、一部地域を除いてほとんど日本と同様に通じるようになった。ただし、エジプト人は電話好きで、官庁など回線の少ない組織では話し中でなかなかつながらない場合が多い。また、携帯電話が個人にも急速に普及しており、固定電話よりも携帯電話で連絡をとる方法が一般化している。

公衆電話は、Telecom Egypt社のみが営業しており、電話局にコイン式の公衆電話が設置されているのみである。

(2) 国内電話

電話の契約は県内、遠距離、国際電話に分かれていて、ひとつの回線に対し

それぞれ別途の契約が必要である。一般の加入契約だけでは遠距離、国際電話はつながらず、個別に申し込みを行うことで可能となる。

フラット(住宅)には通常、一般加入電話が敷設されているが(フラットの家主が加入している)、遠距離電話や国際電話にも加入しているか、契約内容を確認することが必要である。また、一般家庭の新規加入には相当の時間がかかるため、入居後に新規加入することは現実的でない。フラットを借りる際には、必ず一般加入電話が利用できるか否かを予め確認しておくことをお勧めする。

< 一般加入電話の通話料金 > (エジプトポンド :LE)

基本料金 : 月額	LE24	
	最初1分間(後1分ごと)	
県内	LE 0.3 / 分	
携帯電話	LE4.5 / 分 (8:00~20:00)	
	LE3.5/分 (20:00~8:00)	
国際電話	日中(8:00 ~ 20:00)	夜間(20:00 ~ 8:00)
日本	LE 4.50 / 分	LE 3.50 / 分

国内通話料の支払いは四半期ごとにTelecom Egypt社から請求書が届くので、同社の窓口で支払う。請求書が届かない、または遅れて届くことがあるため、自分でTelecom Egypt社窓口へ出かけて支払うことも可能である(電話の契約者がフラットの家主であるため、電話局からの請求書が居住者に届かない場合がある)。電話料金は、ホームページや電話でも確認できる。県内、遠距離電話とも明細書はなく、累積通話料金のみ表示された通知書が配布される。通話明細はTelecomEgypt社窓口で確認できるので、あまりに高額な請求を受けた場合は、支払う前に内訳を確認する必要がある。

支払い期日までに通話料金を支払わなかった場合、1週間の猶予期間ののち、自動的に接続を停止される。これ以降、延滞追徴金が加算され、回線の回復には未払い金額と延滞追徴金を支払わねばならない。

ホテルからの通話料金は、毎分LE3~5に設定されており、一般加入電話に比べて非常に高額である。

(3) 国際電話

国際電話は、上述のとおり、一般加入電話の県内、遠距離電話に加えて、別途の契約申し込みが必要である。フラットを借りる際に、国際電話が可能かどうか、家主(契約者)に確認しておく必要がある。料金は、国内料金に比べて非常に高額であり、頻繁に利用する場合には、デポジットを徴収される場合がある。料金の支払いに関しては、国内電話と同様である。

なお、日本への通話料金は、次のとおり。

ダイヤル通話 : 日曜日から木曜日の8:00 ~ 20:00が1分LE4.5、日曜日から木曜日20:00 ~ 8:00と金曜日・土曜日が1分LE3.5、最低1分間分がチャージされ、以降10秒毎に加算される。

<日本へのダイヤル方法>

国際電話(日本へ) : 0081+0を取った市外局番を含む相手先電話番号

一般家庭の加入電話から国際電話をかけるには、事前に別途申込が必要。

オペレーター経由の通話は、上記ダイヤル通話と同じ料金で、最低チャージ時間が3分間になる。以降10秒毎の追加料金も同じ。

オペレーターの呼び出し番号は、120。

ホテルから国際電話をかけると、日本への国際通話は1分間およそLE29と高額である。

マリオット・ホテル、ヒルトン・ホテルなどの5つ星の主要なホテルには、直接日本のオペレーターを呼び出してつないでもらう「KDDIジャパンダイレクト」用の電話機が設置されている。ただし、コレクトコールもしくはクレジット通話のみの受け付けとなる。料金は、日本発信のオペレーター通話と同額になる。

一般加入電話からは、コレクトコールはできない。

(4) 携帯電話



1998年に、外資合弁でMobinilブランドのThe Egyptian Company for Mobile Services社(主要株主はFrance Telecom、Orascom Telecom)と、Vodafone Egypt社(主要株主はVodafoneグループ)が相次いで設立され、現在では3社目となるEtisalat社が参入し、それぞれ事業を拡大している。一般個人にも急速に普及しており、個人間の連絡方法としては、一般加入電話よりも利便性が高い。

携帯電話サービスへの加入方法は、まず携帯電話機本体を購入(LE170~1000)し、各携帯電話会社窓口で、パスポート等身分証明書を示して加入手続きを実施する。加入後、携帯電話機内部のSIMカードを交換すれば、自由に本体を交換できる。

契約方法は、プリペイドカードによる前払い方式と、月単位の後払い方式があり、前者への加入者が多い。前払い方式は、街頭で販売されているプリペイドカード(LE50、LE100など)を購入し、カードに明記されている登録番号を携帯電話に登録することによって利用できるシステムである。月額基本料金は不要であるが、通話料金は若干高くなる。後払い方式は、月額基本料金が必要であるが、通話料金が若干安くなる。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

一般加入電話があれば、FAX機は問題なく利用できる。FAXは現地で購入できる。ただし、機種の種類が少なく、価格も高い。日本製のFAX機も利用できる。

(2) インターネット

一般加入電話(アナログ回線)によるダイヤルアップ接続、ISDN、ADSL、3G回線を利用した無線通信、都市部には公衆Wifi設備などがあり、ひとつおりのサ

ービスが揃っている。特に一般回線によるダイヤルアップは2002年1月から「無料インターネット接続サービス」が開始され、インターネット・サービス・プロバイダーへの加入契約なしに、誰でも市内通話料金でインターネットに接続できるようになった。パソコンとモデム(V.90)さえあれば、フラットやホテルの一般回線からインターネットが利用でき、かつ、日本で使用している電子メールアドレスもそのまま利用できる。

ホテルによっては電話線モジュラーの形状が異なる場合があるが、スーパーなどでモジュラー変換コネクタを購入できる。なお、モジュラー自体がないホテルもあるので注意(この場合は音響カプラーが必要)。

一般回線の通信速度は40K程度。回線の質が悪くときどき切断される。アクセスポイントの電話番号がこみ合うことはほとんどない。

「無料インターネット接続サービス」のアクセスポイントは、ほとんどの全国主要都市に設置されている。利用料金は、アクセスポイントへの県内電話料金のみで、最初の1分間がLE0.05、以降1分ごとにLE0.02が通常の電話料金として請求される。ホテルの場合は県内通話料金として毎分LE3～5程度の電話代が請求される。

ISDN、ADSL等のブロードバンド契約や、電子メールアカウント、Webページを開設する場合には、インターネット・サービス・プロバイダーに加入契約する。

加入料金は従量制、固定制、無制限などさまざまな設定がある。代表的な無料インターネット・サービス・プロバイダーは次のとおり(詳細はPart3 イエローページを参照)。これらのプロバイダーがADSL、ISDNを含む契約ベースでの有料インターネット接続サービスも提供している。

 Yellow Page

- ・Link dot Net
- ・TE Data S.A.E.
- ・Internet Egypt
- ・Mobinil
- ・Vodafone
- ・Etisalat

8-3 郵便

(1) 一般事情

< エジプト国内の郵便 >

エジプトでは郵便物が途中で消失する、届くまで常識では考えられない時間がかかるといったトラブルが頻繁に発生する。「大事なもの・高価なものは郵送しない」「急ぐものは郵便では送らない」といった心構えで臨むほかない。さらに、日本からエジプトへ物品を郵送する場合、エジプト側で予期せぬ関税や手数料を課されることが多く、在留日本人を悩ませている。

カイロ市内での文書・物品の授受は、郵便を利用せずに、運転手他に持参さ

せて受領サインを求める方法が一般的である。遠隔地への送付物については郵便を利用するほかにないが、普通郵便の利用は避け、EMS (Express Mail Service書留速達的一种)を利用する方が無難である。

郵便の取り扱いは、24時間営業している中央郵便局(市内中心部のアタバ広場)のほか、ドッキやザマレクなど市内の支局窓口で手続きをする。また、主な街角やホテル内にはポストが設置されていて、国内郵便(赤)と国際郵便(青)の投函ができる。なお、中央郵便局での手続きは非常に混雑しており、事務処理に半日かかることもある。

< 国際郵便エジプト 日本 >

一般に、エジプトから日本への郵便については、それほどトラブルが発生せず、確実性、迅速性ともあまり問題がないといわれている。ただし、小包はすべて開梱検閲されるため、まれに時間がかかるもの、届かないものがある。航空郵便の所要日数は、エジプトから日本への発送、日本からエジプトへの発送とも7～10日前後に到着する。OCSやEMSの場合は6～7日で到着する。エジプトから日本へ郵便料金は、はがき、封書の航空便はLE1.50と非常に安価である。小包のEMS料金は500g以下LE141.50である。

葉書等を除き最も確実な手段は、EMS、または高価ではあるがOSC、DHL等国际クーリエサービスである。

< 国際郵便日本 エジプト >

日本からエジプトへの郵便はトラブルが多く、かなり細かく自衛手段を講ずる必要がある。はがきや封書は特に問題ないが、開封確認される小包の場合は発送手段、内容物、梱包方法、表示方法、手続き方法など工夫が必要である(それでも内容物の抜き取りや小包そのものが消失する可能性は残る)。さらに、日本からエジプトへ物品を郵送する場合、エジプト側で予期せぬ関税や手数料を課されることが多く、在留日本人を悩ませている。

日本からエジプトへ送付する郵便物のあて先は、勤務先の私書箱でも居住しているフラットの場合でも、いずれも問題なく送付されるといわれている。現実的には、郵便局からの配達途上の誤配、紛失を避けるため、勤務先の私書箱を利用することが好ましい。

日本から送られてくる小包は、郵便局に留め置かれ、受取人あてに到着通知が送付される。これを郵便局へ持参し、身分証明書、パスポートを提示して手数料、関税を支払って引き取り手続きを行う。事前に受取人に差出人名や内容物が通知されることはない。なお、EMSの場合、すべて中央郵便局で留め置かれ、通常郵便小包は支局へ転送されて留め置かれる。よって重要、または急ぎのものは、OSC、DHL等の国際クーリエ(住居迄直接配送される)、EMSの場合も事務所宛とすることを勧める。

在留日本人が主に利用する郵便局は次のとおり。



・Central Post Office

- ・Dokki Post Office
- ・Zamalek Post Office

(2) 課税

エジプトでは、国内産業を保護するため、従来輸入品に高率の関税を課してきた。将来的に貿易を自由化するという方針のもとに、1996年から税率を段階的に下げてきているが、現状でも一般の最高税率40%、一部の食料品に至っては80%もの関税が課されている。

2002年1月からは新たに衣料品に対してカテゴリー税が新設され、新品と見なされた衣料品は一着ごとに一定額の高額関税が課されるようになった。これらは郵便小包、EMS、OCS、DHLなど輸送方法に拘わらず課税されるため、日本からエジプトへ物品を送付する場合には、不要の課税を避ける工夫が必要である。スニーカー1足にLE3000課税されたケースもある。

郵便物送付の留意点として、2011年3月11日以降郵便小包およびEMSでは日本からの食料品、日本食品は送付が不可となっている。他にもアルコール類は送付不可、DVD、電話機・FAX機、コンピューターは特別な許可を取得する必要がある。

< 主な輸送品目と関税率 (CIF*に対する関税額・品目ごとの税額) >

■品目	■関税率およびセールス税	■参考
食料品(一般)	50%	明細品目により税率が異なる。
日本食品	50%	CIFの60%との情報もある。
アルコール類	3000%	
新品衣料品一般	40%	新品のみ。
電化製品(一般)	40% *2	
ビデオテープ	40%	
電話・FAX機	記載なし	
コンピューター	10%	
書籍	記載なし	明らかに新品に見えるもの。*3

*CIF (Cost Insurance and Freight) は運賃・保険料込みの価格。

*1新品かどうかの判断は関税局員が個別に下す。

*2諸税とは関税、セールス税、サービス税から構成される。

*3梱包表面に「Printed Matters」と表示すると無税になることがある。

輸送品目に対する税額は、関税局員個人の判断によるため、ケース・バイ・ケースで税額が微妙に異なる。いずれの場合も、新品と判断されるもの、インボイスの商品価格が高額であるものは高額に関税・諸税が課されることが多い。

これを避けるためには以下の注意が必要である。

- (a) 新品は送付しない。
- (b) 中古品であることがわかる梱包方法にする(日本人の輸送品は中古品であっても程度がよく、梱包も整っているため新品と誤解されやすい)。

(c) インボイスの商品価格は極力低価格で記載する(輸送保険の観点から輸送品の価値よりも高額を記載したくなる)。

(d) 内容物のリストは英語でわかりやすく記載する。

なお、輸送物品を確認する関税局員側は関税ファイル(プライス・リスト)を参照しており、そのファイルよりも大幅に低価格の申告がされている場合はペナルティが科されるとの情報もある。

(3) 国際宅配サービス

OCSやDHLが普及しており、通常5日程度でエジプトから日本に発送可能である。ただし、輸送料は郵便小包に比べて高額で、OCSは1kg約LE387、最も確実といわれているDHLは1kg約LE516さらに高額である。主な国際宅配サービス会社は次のとおり。



- ・OCS (Overseas Courier Service Egypt)
- ・DHL Egypt W.L.L.

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の仕方

一般家庭へのパソコンの普及率は高くはないが、富裕層、法人の需要やインターネットカフェでの利用を中心にユーザー数は増加している。パソコン本体、周辺機器、ソフトウェアとも現地で販売されており、HP、Dell、Toshibaなど一流ブランドの製品も購入できる。

日本のメーカーでは富士通の現地法人(取扱いはSiemensブランド)と東芝の現地法人が2002年からパソコンの販売を開始している。一般的な保証期間は1年間である。

一般に代理店のサポートは技術レベルが低く、簡単なセットアップとソフトウェアの調整は可能である。問題が発生した場合には、該当部品を交換することが多く、海外から取り寄せる場合は修理に相当の時間がかかることもある。

いわゆるショップ・ブランドのパソコンも販売されており、一流ブランド製品に比べて非常に割安であり、地元ユーザーを中心に利用されている。パーツの選定、組み上げ方法など、不透明な部分が多く、まだまだ信頼できるレベルにあるとはいえない。これらを利用する場合は、自力でトラブルに対処できる知識と技術が必要である。

ソフトウェアは英語版が一般的で、アラビア語版のOS、アプリケーションも普及している。日本語版は現地では入手出来ないため、必要に応じ日本から日本語版を持参することをお勧めする。ソフトウェアの違法コピーが相当数出回っているが、2002年に知的所有権法が施行され、ユーザー・ライセンスの適切な管理が求められている。

プリンターはHP(ヒューレット・パッカー)製のシェアが大きい。Canon、

Epson製も販売されている。これらのカートリッジは比較的広く販売されており、型番が合えば日本から持参したプリンターにも使用できる。

(2) 使用の際の注意

パソコンのトラブルとしては、電源部の故障が比較的多いと思われる。ノートパソコンやプリンターなどに付属している世界対応のトランスや充電機も、故障することがある。

原因として、日常的に電圧が大きく変動していること、たびたび突然の停電が起こること、埃の付着などが考えられる。場合によってはマザーボードが故障することもあり、いずれも日本では発生しない類の故障である。スタビライザーやUPS(無停電電源装置)を使用することが対策の1つとなるが、UPSそのものが故障してしまうケースもある。

エジプトでは古いパソコンやソフトウェアがまだまだ現役で使用されており、新旧製品が混在している環境にある。パソコンの能力とソフトウェアの動作環境および互換性に注意して、使用するOS、ソフトウェアを選択する必要がある。

日本からパソコンや周辺機器を持参する場合は、ウイルス感染やOS、アプリケーションのトラブルに備えて、再インストールが可能な付属品(リカバリーCD、インストールCD、ドライバーなど)を持参しておくことをお勧めする。

現地のプロバイダーはウイルス駆除サービスを提供していないため、ユーザー側でウイルス対策ソフトをインストールするなど自衛するほかない。

コンセントの形状、電圧に関しては「1-7 家電」参照。

(3) 修理

パソコン本体、周辺機器が故障した場合、現地で購入した英語表示の製品の場合は、購入したショップ経由で修理を依頼できる。保証期間内であれば、無償で修理される。一般に、ソフトウェアの不具合の場合は販売店や代理店の技術者でも修復できるが、ハードウェアの故障の場合は現地には修理できるノウハウはなく、パーツの交換によって対応することになる。

日本から持参した製品は、海外でのトラブルは保証対象外となる。場合によっては現地の技術者に修理を依頼できるが、ハード、ソフトとも日本語表示であるため対応できない場合が多い。日本人による修理サービスは企業、個人ともに存在しない。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

就業時間は官公庁や企業によりまちまちである。一般的に官公庁や国営企業では8:30から14:30(昼食時間なし)、ラマダン中は8:30から13:30のところが多い。もっとも、企業や省庁に勤務している職員に尋ねても返ってくる答えが違うこともあり、厳密に就業時間として意識されていない感がある。

通常は昼休みは存在しないが、30分ほどの休憩時間を設けている職場もある。残業はそれほど多くない。概して残業をしまで仕事を終わらせるという意識はなく、翌日に回せるものは回しているようである。

(2) 有給休暇

職場や官庁によって異なるが、入社した直後は年間15日間、2年目以降は21日間、11年目以降もしくは50歳以上は30日間というように増加していく。

(3) 執務室

日本でよく見る大部屋タイプは珍しく、個室、もしくは2、3人部屋の執務室が大半である。局長や部長は、広い部屋を専有できるが、一般職員の労働環境は日本人のそれと大きな違いはない。

(4) 通勤事情

多くの専門家は、自家用車と個人契約の運転手もしくは運転手付のレンタカーを利用して通勤している。タクシーや地下鉄を利用する専門家もいる。平日8:00から9:00頃と15:00頃は、通勤通学ラッシュで、カイロ市内中の道路が混雑する。金曜日、土曜日は、比較的すいている。マイクロバスを使うことも可能ではあるが、ネクタイ・スーツ姿で乗る外国人はまれである。

ボランティアはバス等で通勤している。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

カイロ空港には、3つの空港ターミナルがあるが、現在第2ターミナルは閉鎖されており、利用されているのは第1ターミナルと第3ターミナルの2つとなっている。第3ターミナルにはエジプト航空を含むスターアライアンス加盟航空会社が発着する。また国内線も第3ターミナルからの発着となる。それ以外の航空会社を利用する場合は第1ターミナルを利用することになる。

空港ビル内には、リムジンサービスカウンターもある。個別のタクシーやリムジンの客引きとの交渉に不安があれば、窓口でのやり取りをお勧めする。

なお、到着後、空港ビル内の免税店で現地では購入困難な外国産ウスキーや輸入ワイン(4本まで、パスポートに記録される)などを購入できる。カイロ市内にも免税店があり、入国後48時間以内なら、パスポートを持参し提示することで購入可能。

(2) 入国手続き書類

旅券及び査証と、機内で配布される入国カードが必要である。

公用査証(ビザ)は、在京エジプト大使館で事前に取得しておく必要がある。在京エジプト大使館の発給する査証は、発行日から3カ月以内の入国を可能とするものであり、入国後は1カ月間有効である。1カ月(2週間の猶予期間があるので、実際には45日)以上滞在する場合には、エジプト側の所属機関発行入国管理事

務所宛の査証延長依頼状を付して、ビザの延長手続きを行う。

長期滞在の場合には、同様の手続きにより滞在査証を取得する必要がある。滞在査証は、査証期限内で、かつ出国後6カ月以内であれば、再入国可能。

なお、観光目的で一般旅券をもって入国する場合には、30日以内であれば、空港の入国審査手前の銀行(両替所)において、15米ドルの査証用印紙を取得する。

(3)入国審査

ケニア、エチオピアなどからの便の乗客に対しては、黄熱病予防接種カードのチェックがあり、所持していないと空港の収容施設に隔離されることもある。黄熱病予防接種カードは、エジプトでも取得可能。

入国カードには、英語、アラビア語の両面がある。英語欄に記入し、わからない部分については空白にしておく、係官が記入方法を説明するか記入してくれる。入国審査時に質問されることは、殆ど無い。

(4)税関検査

申告するものがない場合は、緑の表示がある非課税申告の場所を利用する。段ボール箱、ジュラルミンケースの場合には、内容物をチェックされることが多い。何れのケースにおいても、その扱いは乱雑であると考えておく方が無難である。段ボール箱の場合には、再梱包用にガムテープを持参しておくとう便利である。

同時携行品については、ほとんどの場合問題は生じないが、一部の電化製品(電子レンジ、ビデオカメラ、カラープリンターなど)には持ち込み制限があり、現場の税官吏が即断できずに預かり置きになるケースもある。

また、短期滞在の場合、税官吏に聞かれた時には、ビデオカメラなどは日本に持ち帰ることを申告し、パスポートにその旨記入してもらう。当該対応がなされた場合には、出国時に必ず申告する必要がある(長期滞在の場合、パスポートに記入があると、出入国のたびにビデオカメラなどを携行しなければならず、問題となるケースもある)。

ビデオテープ、オーディオテープ、CDなどの持ち込み時にも、見つければ検閲が求められるケースもある。

なお、税関吏が英語を理解しないこともある。

(5)空港内での留意点

到着後空港建物を出るまでの間についても、身の回りの手荷物管理にはいつ何時も十分に注意しておく必要がある。出発前にエージェンツ、航空会社等に対してファミリーサービス(空港到着後の特別な支援)を依頼していても、現地空港内でのケアがなされないといったケースもある。

(6)空港からの主な交通手段

レンタカー、リムジン、タクシー、大型バスなどを利用する方法があるが、出発前に何らかの出迎えの手配をしておくことをお勧めする。

事前手配がない場合には、市内中心部のTahrir(タハリール)広場まで、約

80LE～120LEと割高ではあるものの、リムジンカウンターで車を手配するのが無難である(なお、運転手からはチップを要求されることもある)。一般のタクシー利用の場合も約80LE～で、英語が通じないこともある。白と黒のチェッカー柄のタクシーはメーター制(初乗り2.5LE、以後200m毎に0.25LE)、黒塗りのタクシーは定額制ではなく値段交渉が必要である。なお、メーター制タクシーの場合においても、値段の上がり方が異常に早いケースもあるため、注意が必要である。なお、行き先が一般的に名前の知られた大きなホテルなどであればそれほど問題はないと思われるが、タクシー運転手は場所がわからない場合でも取り敢えず客を乗せ、ある程度走行した後に道々で人に場所を尋ねるといった場合が多々あるので、注意が必要である

(7)その他の留意点

外貨交換は、空港にある銀行や両替店、またホテルや市内の銀行や両替店でも可能である。日本円の両替も可能である。ただし、トラベラーズ・チェックからの両替を取り扱っているところは限られており、拒否される場合もある。

11-2 出国

(1)出国時の概要

入国時と同様である。出発ホールの入口で、パスポート、航空チケット、X線による荷物のチェックが行われる。金属性の小さな箱、高価な貴金属のアクセサリなどを持っている場合には、係員に開封されて検査されることもある。また、サングラスや骨董品などの輸出禁制品についてもチェックされる。所持金額を聞かれることは殆どない。荷物チェックの後、チェックインカウンターに進むことになるが、チェックインカウンターには乗客しか入ることはできない。チェックイン手続き完了後、出国カードに必要事項を記入のうえ、入管窓口に旅券、出国カード、搭乗券を提出し、出国手続きを実施する。出国手続き後には、第1および第2ターミナルともに免税店、喫茶店などがある。土産品もあるが、市中に比べ割高である。

(2)リコンファーム

基本的にリコンファームは不要である。

(3)チェックイン

国際線の場合には、2時間以上前、国内線の場合には1時間前のチェックイン手続き実施が無難である。

(4)空港利用税

一般旅行者も含めて、空港税はない。

(5)その他の留意点

JICA事務所があるナイル河畔やザマレク地区から空港までは、道がすいていれば30分から45分程度で行けることもあるが、渋滞が特にひどい場合には120分以上要する場合もあるので、時間に余裕を持って移動することをお勧めする。

期限内の滞在査証を所持している場合には、出国後6カ月経過していなければ

ば、再入国ビザの再取得は不要である。

なお、当地赴任中に旅券の更新を行った場合には、念のために新旧両方の旅券(*旧旅券はVOID済み)を携行しておくこと。(*入国スタンプや査証情報が旧旅券にしか記載されていないケースもあるため。)

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

査証の有効期間(有効期間を過ぎていても、2週間であれば手続き期間として猶予される)の確認、航空券の手配、大使館への届け出(在留届取り消し)、銀行口座を開設している場合はその解約等である。

(2) 車の処分

繁雑な手続きが必要なので、最低2カ月前には手続きを開始する必要がある。処分方法としては、同僚の専門家や知人への売却、日本人会への広告を通じた売却、当該車両の窓に売却広告を張る、ディーラーに買い取ってもらうなどの方法がある。

課税車(購入時に税金を払っている通常の車)の場合には、新聞広告を出すと中古車ディーラーも含めて、かなりの反応がある。中古車ディーラーを利用する場合は、店頭展览展示して購入希望者との仲介をしてもらうことになる。

課税保留車(「20-2自動車(3)現地での購入」を参照)であれば、購入権を持った人のみが対象であり、その処分や譲渡には手続き上、相当の時間と労力がかかることを予め認識しておく必要がある。

(3) 家財道具の処分

日本に持ち帰る場合、郵送であれば安いのが、非常に時間がかかり不確実である。民間の運送会社に依頼して、アナカン(航空別送荷物)や海送で輸送する方法が一般的である。現地在留日本人は、主に以下2社の民間運送会社を利用している(詳細はPart3イエローページ「26.輸送会社」参照)。



・Gateway Freight Systems (ゲートウェイ・フレイト・システムズ社)

・Suntra Express (サントラ・エクスプレス社)

(4) 住宅の明け渡し

家主への通知は、口頭で行う場合が多い。トラブルを防ぐため、受け入れ機関のスタンプのある帰国通知を家主本人に渡し、コピーに受け取りのサインを受領しておくのが無難である。なお、入居時に支払った敷金等の払い戻し、また電気・水道・ガス・電話等各種料金の支払い等についても、退去時には各自できちんと精算しておくこと。

(5) 外貨持ち出し規制

外貨の持ち込み・持ち出しについて、入出国時に聞かれることは特段無い。

なお、銀行によっては、一回あたりの送金或いは現金での引き出し総額に制限等が存在する場合もあるので、各自口座を保有している銀行で事前に確認し

ておくこと。

12. 治安、緊急時の心得 別冊1エジプト事務所安全対策の手引を参照



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

13. 社交



13-1 風俗習慣

一般的に、外国人に対しては親切であるが、逆に外国人だと見ると痴漢やぼったくり等を試みようとする人々も存在する。甘い顔をせず、抗議するべきところは抗議することが肝要である。

13-2 パーティーでの留意点

政府高官が出席する場合は、その人が到着してから食事を始めるのが一般的である。イスラム教の戒律上、アルコール類を飲む人と同席することも厳しく禁じられているため、エジプト人を招待するパーティーを主催する場合には、ノンアルコールとしておくのが無難である。

開会の際に、主催者、および主賓によるショートスピーチが催されるのが通例である。終了の際のスピーチは、必須ではない。

衣服についての留意点は、「2-2 礼装(1)(4)」参照。

13-3 来客時の留意点

エジプト人にとって、日本食にはあまりなじみがないケースが多いため、日本料理だけでは無く、西洋料理またはエジプト料理もあわせて出すほうがよい。夕食開始時間としては、ラマダン(断食)月以外においては20:00前では少々早いというのが通例のようであり、ラマダン中は日没後(「イフタル」と呼ばれる食事時間)からとするのが適当である。

また、基本的には社会的地位が同じ人を招待するのが望ましい。したがって、パーティーの目的を決めたら、親しい招待者に他の招待すべき候補者について相談するのが無難である。

日本人、エジプト人、エジプト人以外の外国人と一緒に招く場合には、西洋風のパーティー形式、マナーで差し支えないが、イスラム教徒のエジプト人を招待する場合には原則ノンアルコールとするため、その旨を前もって招待者に対して

通知しておくことが望ましい。

13-4 訪問時の留意点

テーブルにはたくさんの料理が置かれるケースが多いが、残さずに食べる必要は無く、基本的に通常のマナーに留意していれば問題は無い。多くの場合、靴を脱ぐ必要はないが、室内履きで生活している家庭もあるので、入室時に招待者に確認すること。

開始や終了時間は日本より遅いケースが多く、深夜1、2時ごろまでパーティーが続くこともある。

手土産が必要な場合、菓子や花を持っていくと喜ばれるケースが多い。菓子の場合であれば、家族分、親族分等を考え、多めに持参すると喜ばれる。花は、花屋でアレンジしてもらうことが可能である。なお、花は比較的早く開いてしまうこともあるので、直前に購入するほうが無難。もちろん、日本からの小物も、お土産として喜ばれるケースも多い。

13-5 禁止されている言動 (タブー)

足の裏を相手に見せるようなことは、相手をさげすむ意志の表れと考えられており、慎まなければならない。また、一般的なことではあるが、宗教に関する話題も軽々しく行わないほうが無難である。

13-6 日本人会



カイロには、「カイロ日本人会」が存在する(詳細はPart3イエローページを参照)。日本人会に所属すると、忘年会、新年会、運動会、夏祭りといったイベントに会員価格で参加することができるという特典がある。会費は、家族の場合には月30エジプトポンド(LE)、単身者の場合には月LE20で、通常半年分をまとめて払い込む。また、日本人会の会員には『パピルス』という会報誌(年6回発行)が配布される。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

年1、2回イベントが開催される。会員は全員で686人(2011年10月現在)。

13-8 現地の人々との交流

多少意識的に交流することを心がけないと、仕事上だけのつきあいとなってしまうかねない。アラビア語を多少でも操ることが出来たほうが、交流がスムーズにいくことはいうまでもないが、必須条件ではない。一般的に高学歴のエジプト人は、英語やフランス語に堪能なケースが多い。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

エジプトの教育システムは、現在5・3・3・6制から、2003年度以降6・3・3・4制に移行した。ランゲージスクールといわれる実験校(英語中心の教育)以外では、授業がアラビア語で行われている。

現地に滞在している日本人子女のほとんどが、カイロ日本人学校に通っており、若干名がアメリカ系、イギリス系のインターナショナルスクールに通っている。

(2) 日本人学校



1972年5月に「Cairo(カイロ)日本人学校」(詳細はPart3イエローページを参照)が開校された。現在の校舎は、Giza(ギザ)のピラミッドに近いところにあり、89年に移転したものである。小学部と中学部があり、33人の生徒が在籍している(2011年10月24日現在)。学期やカリキュラムは、日本とほぼ同様である。

<入学手続き、授業料ほか>

学校に直接申し込む。現在の施設は新しく余裕もあるので、ウェイティングリストに載せられて待つことは通常無い。赴任が決まり次第、直接連絡すること。転校手続きについては、海外子女教育振興財団に問い合わせること。

在学証明書は、郵送すると時間がかかったり、届かなかったりすることもあるので、持参したほうがよい。

入学金は200米ドル、授業料は毎月450米ドルで、3カ月分をまとめて納入する。そのほか、学校傷害保険約50米ドル(円・米ドルレートによって変動)、PTA会費が学期ごとに世帯あたりLE40必要である。

詳細は海外子女教育振興財団からの情報に加え、直接日本人学校または知人に問い合わせる。また、同校のホームページからも情報を入手することができる。(カイロ日本人学校ホームページ <http://cjseg.com/>)

特色として、小学部1年生から英会話が週1.5時間、アラビア語が週1時間、学期に1回の情報学習(パソコン使用)、国際理解学習などの時間が設けられている。

課外活動(4年生以上)は生徒の希望に合わせて実施されており、テニス、バスケットボール、ソフトボール、サッカーの4種目がある(2008年2月現在)。個人競技種目の場合、気に入った用具(テニスラケットなど)があれば持参するとよい。

スクールバスが所定のルートを通っている。(ザマレック2便、マーディ1便) 給食はないので弁当と水筒を持参する。

学用品は、ノート、鉛筆、参考書に至るまで、持参したほうがよい。カリキュラムは基本的に日本の学校と同様であるが、用意すべきものとして学校がリストアップしているものを以下に示す。

教科のノート(学年の基準に合わせたもの。低学年は国語ノート:8~24マスおよび算数ノート、ランドセル、下敷き、赤白帽、体操服、体操服入れ、運動靴(上、

下履き用)、上履き入れ、水筒、弁当箱、箸、箸箱、クレヨン(「クレパス」「クーピー」)、水彩用具、色鉛筆、コンパス、ホッチキス、カッター、のり、ハサミ、エプロン、三角巾、水着、ビーチサンダル、ビニールバック、なわとび。

学年別では、1年生以上が鍵盤ハーモニカ、3年生以上が習字用具と練習用半紙(ただし、2年生も書き初めがあるのであるとよい)、縦笛、そろばん、5年生以上が裁縫用具などである。

< 海外子女教育振興財団 >

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : service@joes.or.jp

受付時間 : 9:30 ~ 17:30 (月 ~ 金曜日、祝日・年末年始を除く)

・東京

住所 : 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

電話 : 03-4330-1349 FAX: 03-4330-1355

・関西分室

住所 : 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200大阪駅前第一ビル2階

電話 : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

現地に滞在している日本人子女のうち、若干名がアメリカ系、イギリス系のインターナショナルスクールに通っている。

アメリカ系、イギリス系スクールとも、8月下旬(9月初旬)からが第1学期、1月から4月までが第2学期、5月から6月までが第3学期である。

日本人子女が通っている主なインターナショナルスクールは以下のとおり。

・Cairo American College (CAC)

・The British International School, Cairo

アメリカ系、イギリス系の学校はほかにもあり、フランス系、ドイツ系の学校もある。また、アレキサンドリアにもアメリカ系、フランス系の学校がある。

(4) 幼稚園

エジプトでは、4歳児までの幼児教育を社会保険・問題省が、5歳以上の児童教育を教育省が管轄している。エジプト人子女の通う幼稚園でも、外国人の入園が可能なところも多い。また、主に外国人を対象とした幼稚園も経営されている。

空席があれば、随時入園可能である。授業料は、月額LE200のところから1学期6000米ドルのところまで、さまざまである。

外国人幼児を対象とした幼稚園は、次のとおり。



・Cairo American College (CAC)

・The British International School, Cairo

・Fun Tots International Nursery

・Cairo International Kindergarden

・Jennifer's International Pre-School

保育所としては次のところがある。

・Morning Star

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

British Council、CSA (Community Services Association) などいくつかの教育施設が存在する。これらの施設は、図書館を運営したり、語学や音楽、美術のクラスを開講したりしている。

日本語の小説やビデオなどは、カイロ日本人会、在エジプト日本国大使館、国際交流基金の図書館などにもある。



・在エジプト日本国大使館広報文化センター

・国際交流基金

・British Council

・CSA (Community Services Association)

・French Culture Center

15. 家庭の使用者



15-1 一般事情

フラットに居住している日本人の場合、家政婦/夫、運転手を雇用するのが一般的である。ほかに、ベビーシッターの雇用をするケースもあるが、日本料理を作る料理人は皆無に等しい。文化、習慣のまったく異なる国であるため、人によっては慣れるまでに苦労することもある。

なお、ひとつの考え方ではあるが、(富める者が貧しい者を養うというイスラム教の観点から言えば、) 使用者は家族の一員とも考えられ、使用者の家族環境や健康状況(たとえば冠婚葬祭への配慮など)に注意を払うことも、様々なリスクを減じるという意味においても、雇う側にとって大切な視点の一つである。

15-2 運転手

(1) 雇用

知人の紹介によるのが一般的で、知人の雇用している運転手から紹介してもらうケースもある。念のため、基本的には試用期間を設けた上で選考することをお勧めする。契約にあたっては、英語のできるエジプト人を介して詳細を確認しておくなど、契約前に相互に誤解のないようにしておくことが肝要である。採用の際には、念のために免許証(職業ライセンスとしての免許、いわゆる二種免許を持っているとよりよい)と身分証明書のコピーをとっておくことをお勧めする。

賃金、残業単価、休日、試用期間などを規定して、契約書を作成している人もいる。慣行として、昇給は年1回、ボーナスはラマダン前と巡礼休暇前に給与の0.5~1カ月分、退職金はおおよそ「雇用年数×1カ月分の給料」である。

契約を終了する際は、契約を終了した旨の文書(手書きでも可)にサインをもらっておくほうが無難である。運転手の過失により契約を終了する場合は、本来ならば何も支払う義務はないが、実際は退職金を支払う例が多い。

なお、乗用車を所持する運転手もあり、その乗用車を使うという条件で雇用することもできる。賃金(料金)は高くなるが、多くがガソリン代や維持管理費を含んでいることから、乗用車の管理に気を遣う必要もない。このようなサービスを利用する関係者も多い。

(2) 日常管理

出勤時間や車の鍵の受渡しについては、予めきちんと指導しておくことをお勧めする。しばしば遅れる場合には、適宜指導しつつも、早めに対策を講じることをお勧めする。

場合によってはガソリンが抜かれているといった可能性等もあり、また自分の乗る車の状況は自らの身を守ることに直接繋がることでもあるため、日時、出発地点と到着地点、走行距離、給油記録等運行記録や整備記録をつけるよう教育するなど、チェックしておくことをお勧めする。運転手から頻りに部品交換や修理の要求がなされるケースもあり得ることから、修理後は古い部品は必ず提示させるなりすることも併せてお勧めする。

なお、車両の清掃などについては、駐車キーパーなどの仕事となるのが一般的で、駐車場代に含まれる場合もあれば、別途いくらかの謝礼を払うこともある。

(3) 教育指導

一般的に運転マナーが悪いため、速度の出しすぎ等「安全運転」について十分に指導しておくことをお勧めする。

地図を判読出来ないドライバーが多いことから、通常地域名や主要な幹線道路名などで目的地を指示する必要がある。運転手が詳細な目的地を知らない場合には、運転手がほかのドライバーや通行人に道を聞いたりするなどして、目的地に向かうことになる。

運転手にとっては、日本人と異なる食事時間やお祈り時間が必要というケース等もあるため、場合によっては待機中に一定時間車から離れても良いという許可を、自身が車から離れる前に与えておくのが良いと思われる。

日常の過失や問題点については、都度はっきりと注意することが必要で、度重なる場合には早めに解雇する等対処することが望ましい。

(4) その他の留意点

ラマダン時には、全般的に交通マナーが悪くなる。雇用している運転手も、寝不足、空腹、のどが渇く等、集中力、体力が低下しがちなので、ラマダン時の長時間のドライブはなるべく避け、日没直後の食事までには家に帰すように配慮することが望ましい。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

通常、家政婦／夫は「シャッター」と呼ぶ。仕事は、掃除、洗濯、皿洗い、食料品の買い出し、電気料金の支払いなどで、常駐することはなく、通いの形が通例である。

シャッターによっては、料理ができる場合や子守ができる場合もあるが、あまり一般的ではない。

(2) 雇用

知人や家主の紹介によるのが一般的である。

日本人が雇用していたことがある家政婦／夫のほうが、比較的安心出来る確率が高いと思われる。

一般的にエジプト人の家政婦／夫の場合、アラビア語しか解さない。英語のわかる外国人(スリランカ人、フィリピン人など)もいるが、その場合には給与もそれなりの額になる。なお、外国人を雇用する場合には、滞在許可を得ているかを事前に確認しておくこと。

(3) 日常管理

いちばんの問題は、コミュニケーションである。基本的には片言のアラビア語でコミュニケーションを図ることになるので、話が複雑な場合には、英語を解するエジプト人に間に入って貰ったほうが、誤解を生む可能性は少ない。日本人のように気を利かせることは殆ど無いので、詳細にわたって明確に指示する必要がある。また、できる限り自分の仕事を減らそう(楽をしよう)とする傾向があるため、依頼していたことが行われない場合には、繰り返し指示することが重要である。また、雇い主に対して借金(給料の前借)の申し込みが行われるケースもままあるが、もしこれを受ける場合には、返金されない可能性が多分にあるということを十分に理解した上で対応することが望ましい。

盗難、物品の無断借用なども起こり得る。物品管理には、注意が必要である。特に、引っ越しの前後、一時帰国時、また帰国前など、荷物の動きがある時には盗難に注意すること。

退職時には、退職金(雇用年数×1カ月分の給料程度)を支払い、契約を終了する。良い人物であれば、後任や知人に紹介すると喜ばれる。

これまでのところ、解雇に際して、恨みによるトラブルなどはそれほど報告されていない。何か不安な点があれば、念のため警察に相談する等して対処することもできる。

15-4 庭師、ガードマン

一軒家、フラット(共同住宅)ともに、通常バウワープ(門番)が家主によって雇用されている。

ケースにより異なるが、バウワープは庭師・ガードマンほか様々な仕事をこな

す。

フラットの場合には、バツワブとは別に警備員を配置しているところも多い。いずれの場合においても、家主が雇用しているものの、月々の手当等は家主との話し合いで借り手も分担するケースも多い。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

アラビア語紙では「Al Akbar」「Al Ahram」「Al Gomhoria」が三大紙である。これらの要約を英訳したものが「Cairo Press Review」(日刊)として発行されており、ほとんどの在留外国企業が購読している。

そのほか英字紙「Egyptian Gazette」、フランス語紙各1紙のほか「Al Ahram」紙日曜版(英文)があり、政府の考えを知る上で役立つ。

新聞の価格は1部LE1前後(現地紙・金曜版はLE1.5)である。月にLE35～40程度をワツバーフ(門番)に依託して購読するのが一般的である。新聞販売店から直接購読することもできる。

(2) 日本の日刊紙



OCSを通じて主要日刊紙の予約購入も可能である(詳細はPart3イエローページを参照)。

(3) 欧米紙 / 誌

「The Wall Street Journal」「New York Times」「Figaro」「The Financial Times」「International Herald Tribune」など、主要紙はすべて2～3日遅れで入手可能である。店頭ものは若干遅い。購読料は1部LE15～20で、宅配も可能である。週刊誌『TIME』『News Week』なども同様に入手可能である。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物を入手できる書店はない。OCSを通じての購入は可能であるが、相当高額となる。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

Radio Cairoが、FM放送を2波放送している。1波は英語・フランス語でのプログラムが中心で、もう1波は音楽プログラム中心である。

(2) NHKワールド・ラジオ日本 (ラジオジャパン)

フラットや事務所の立地条件にもよるが、アフリカ(ガボン)の中継局からの放送が、比較的良好に受信できる。放送時間や周波数は、季節により変更される。受信には、デジタル式のラジオが便利である。本格的なアンテナ設置は、フラットが多いことから困難であり、また無用の誤解を引き起こすことにもなりかねない。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

・NHK 国際放送局国際編成部

所在地：〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話：海外から：+81-3-3465-1111（平日／日本時間10:00～19:00）

日本国内から：0570-066066（NHK視聴者コールセンター／24時間
受付）

E-mail：nhkworld@nhk.jp

<周波数表・番組表の入手>

URL：http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html（周波数
表、番組表確認）FAX：+81-3-5454-0888 情報番号260（日本語放送の周波数表・番組表
FAXサービス）

郵送：上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。（無料）

(3) 聴取可能なその他の外国放送

中波でBBC World Service、VOA (Voice of America)、Radio Israel (英語放送) を聴取可能である。夕方にニュースが放送され、重要事件が起きた際は大変参考になる。ほかに、短波で諸外国の放送も聴取可能。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

Egyptian（情報省管轄下の国営テレビ）が、カイロ発信で3波、地方局発信で7波のほか、英語放送のNile TVを加え、計11波のテレビ放送がある。カイロ発信の第2チャンネルでは、夜間、英語・フランス語ニュース、外国映画を放送している。なお、番組内容は新聞に掲載されている。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビ

ほとんどのフラットで、衛星放送によりヨーロッパのEuro News、BBC (PAL方式) などを無料で受信できる。また、有料で映画チャンネル、スポーツチャンネルなどを受信することも可能である。

NHKワールドTV (NTSC方式とPAL方式で放送) 受信のためには、大型アンテナやチューナーが必要である。また、アンテナの設置に際しては、家主と相談し、許可を得る必要があるほか、フラットによってはNHKの衛星受信が困難なところもある。

ロンドンにあるJSTV (Japan Satellite TV: http://www.jstv.co.uk/) が、欧州・中近東向けに日本語衛星放送 (NHK+民放) を行っている。こちらの受信にも、アンテナやチューナー、また契約料が必要である。詳細は、カイロのOCSに相談するとよい。

< NHKワールドTV問い合わせ先 >

・NHK国際放送局国際編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111 (平日 / 日本時間10:00 ~ 19:00)

日本国内から : 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター / 24時間
受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp

< 番組表の入手 >

URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/> (週間番組表確認)

FAX : +81-3-3820-1200 情報番号25800 他(週間番組表FAXサービス)

(3) テレビ受信

エジプトは、SECAM方式である。受信機は、エジプト国産、ライセンス生産のものが多数出回っており、20型であればLE1000前後で購入できる。ビデオデッキは、マルチ式で最低LE500程度である。

(4) テレビ番組のインターネット配信

Al Jazeera、France24、SKYNEWS 等は英語版を HP で 24 時間無料ライブで配信している。

NHK ワールドは英語版を Youstream で 24 時間ではないが、ライブで配信している。

ライブではないが、TBS は TBSnews1 の HP で日本語動画ニュースを、また、BBC、CNN 等も英語での動画ニュースを配信している。

17. スポーツ、 趣味、語学学習



17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

エジプトには、10カ所程度のゴルフ場(カイロ近郊は7カ所)があり、会員制のところも一部にはあるが、多くはビジターでも手ごろな値段でプレーができる。

また、これらゴルフ場において、エジプト在住の日本人ゴルフ愛好者によって、日本人会コンペが月1回程度行われており、基本的には誰でも参加できる。

カイロ近郊のクラブとしては以下のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。



・Mena House Oberoi Golf Club (メナハウス・ゴルフクラブ)

・Dreamland Golf Club (ドリームランド・ゴルフクラブ)

・Soleimania Golf Village (ソレイマニア・ゴルフクラブ)

・Golf City Golf Club (ゴルフシティ・ゴルフクラブ)

(2) テニス、フィットネス

各種スポーツクラブが、カイロ市内・郊外に多数ある。カイロ市内ではフィットネスやプールだけのものが多いが、郊外ではテニスコート、ゴルフ場も完備した総

合スポーツクラブとなっているところもある。また、ほとんどの高級ホテルでフィットネス、プール、一部でテニスコートなどが利用でき、会員、ビジターとも受け付けている。

Yellow Page

主なフィットネスクラブ、スポーツクラブは以下のとおり。マリオット、コンラッド、ハイヤットホテルのスポーツクラブを利用する日本人も多い。

- ・Gold's Gym(ゴールドジム)
- ・Gezira Sports Club(ゲジラ・スポーツクラブ)
- ・Katameya Heights(カッタメイヤ・ハイツ)

テニスについては、在留日本人のなかでサークルが運営されており、誰でも気軽に参加できる。

Yellow Page

- ・GUTS テニスサークル

(3)その他のスポーツ

紅海でのスキューバダイビングは世界的にも有名で、在留日本人にも人気が高く、船を貸し切って2泊3日でダイビングを行うツアーなども頻繁に行われている。シャルムエルシェイク、ダハブ、ハルガダには、多くのダイビングショップがあるほか、一部ショップには日本人インストラクターがいるケースもある。250～300米ドルでオープンウォーターのライセンスが取得できる。

乗馬も、ピラミッド周辺や、ザマレックにあるゲジラ・スポーツクラブの乗馬クラブで手軽にできることから、一部在留日本人には人気がある。ピラミッド周辺では、同伴者付きで、1時間150エジプトポンド程度で周辺を散策できる。

なお、基礎から教えてくれる乗馬学校もあり、10回コース(各1回30分)でLE 600程度で習うことができる。

ソフトボールは、年に2回、日本人会による大会があるほか、在留日本人でチームを組んでおり(チーム名:ライジング・サン)、アメリカ人を主体とした各チームとのリーグ戦に参加している。

また、在留日本人の有志でサッカーチームが作られており、ほぼ毎週金曜日に、芝生のグラウンドで、韓国人チームと共にプレーしている。2011年3月には、湾岸諸国の在留日本人チームと共にドバイに集い、対抗戦に参戦したこともある。

その他エジプトでは、スカッシュも人気があり、様々なところでプレーすることができる。

17-2 趣味

カイロでは、スポーツ以外にも、旅行、遺跡巡り、コンサート鑑賞、その他文化活動に参加することもできる。また、犬、猫、魚、ハムスター、小鳥といったペットや小動物を飼うこともできる。(旅行や遺跡巡りについては「19.観光」を参照)

カイロには、ほぼ毎日クラシック音楽を中心にコンサートが開催されているオペラハウスがある。

カイロオペラハウスでは、7、8月を除いて、年中コンサートやバレエ公演が開

催されており、定期会員になることも可能である。また、10月10日前後には、ギザの3大ピラミッド前の野外特設ステージで、オペラ「アイーダ」が上演される。

そのほかの文化活動としては、CSA (Community Services Association) によるペイントなど、各種趣味教室もある。

Yellow Page

- ・カイロオペラハウス
- ・アイーダ公演
- ・CSA (Community Services Association)

17-3 語学学習

語学学習の機会には豊富に存在し、利用する日本人も多い。教師の質と料金にはそれぞれ差があり、見きわめが必要である。日本人が家庭教師を見つけようとする場合には、口コミによって、ある程度信頼できる人を探す場合が多い。

エジプト人も英語学習には熱心なため、語学学校も数多い。各国大使館に付属する文化センターで習うことも可能。

(1) 語学学習施設

現地の主な語学学習施設は次のとおり。

Yellow Page

- ・British Council (英語、その他言語)
- ・Berlitz Language Center (英語、アラビア語、その他言語)
- ・American University Language School (英語、アラビア語、その他言語)
- ・CSA (Community Services Association) の語学講座 (英・独・仏・西・アラビア語)
- ・Kalimaat (アラビア語)

(2) 家庭教師

英語、アラビア語とも、家庭教師の数は豊富である。教師と言語によって値段は異なるが、一般的に英語は20～25米ドル/時間、アラビア語は15～20米ドル/時間が相場のようなのである。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

エジプトでの地方旅行には、時と場所によって異なるものの、通常何らかの安全対策措置が発せられている場合もあり、旅行前に外務省から出されている安全情報をチェックすることが勧められる (URL: <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/egypt/index.html>)。なお、カイロを離れる場合(特にシナイ半島や砂漠地方など)、道路の検問所や空港で身分証明書(旅券)のチェックが行われる場合もあるので、パスポートを携帯することを勧める。

外国人があまり訪れない地域では、常に監視の眼が光っていると考えておくとよい。特に本格的なカメラを持ち込む場合などは、十分な注意が必要である。公共建築物、橋、鉄道については、原則的にすべて撮影禁止である。また、エジブ

ト人女性は撮影されることを嫌う人もいるので留意すること。

また、地方では、都市部に比べてイスラム教の習慣がより尊重されていると考えるのが一般的である。地方旅行の際には、イスラム教徒に対して不快感を与えない行動をとる、過度に肌を露出した服装での外出は控えるなど、特に注意しておくことが望ましい。

なお、紅海沿岸ではダイビングが盛んである。ダイビングは気軽に楽しめるスポーツというイメージが強いが、一歩間違えると死亡事故にもつながる危険なスポーツであるということを、常に念頭に置いておくこと。

18-2 主要観光地・保養地

エジプトの観光地・保養地は、Cairo(カイロ)圏のピラミッド、地中海沿岸のAlexandria(アレキサンドリア)、Alamain(アラメイン)、Marsamatruh(マルサマトルーフ)、Portsaid(ポートサイド)、上エジプト地域のLuxor(ルクソール)、Aswan(アスワン)、Abu-Simbel(アブシンベル)、紅海沿岸のHurghada(ハルガダ)、砂漠地域のSiwa Oasis(シーワオアシス)、Bahareya Oasys(バハレイヤオアシス)、シナイ半島のシャルムエルシェイク等多彩である。なお、夏の上エジプト・砂漠地域は暑く、あまり観光には適さない、冬の地中海沿岸は気温が低く雨も多いなど、地域毎、季節毎に特性がある。安全対策措置を踏まえ、また地域や季節等を考慮した上で旅行計画を練るとよい。

ホテルは、家族連れ、特に乳幼児が居る場合等には、4つ星級以上を利用する方が無難なケースが多いと思われる。外国資本との合併によるホテルであれば、ある程度のサービス水準には達しているが、必ずしもいつも期待に沿うとは限らない。

エジプトの主な観光地については、いろいろな書籍やホームページで紹介されている。多くの情報を集め、検討、準備したうえで旅行することを勧める。

ホテル代、観光入場料など外国人料金が設定されているケースもあるが、在留者査証を提示することで安くなる場合もあるので、試してみる価値はある。エジプト国内旅行時にも、特にホテルに宿泊する場合や航空機に搭乗する場合は、パスポートを必ず持参して下さい。

なお、エジプトからヨーロッパは比較的近く、ヨーロッパへの旅行を楽しむことも出来る。ヨーロッパ主要都市への往復航空賃は、行き先や季節等によるが、300米ドル程度から販売されている。ギリシャやキプロスなどへの旅行経費は、エジプト国内旅行の旅行経費とそれほど変わらない。

18-3 旅行代理店

国内観光の主な旅行代理店は、次のとおりである(*は日本人スタッフがいる代理店)。



・Misr Travel *

- ・Charisma
- ・H.I.S.TRAVEL.EGYPT *
- ・Bahi Travel Agency *
- ・Horus Tours *
- ・Elegant Voyage *

旅行代理店を通すと、グループツアー価格で格安に旅行できることもある。航空券、市内観光、ホテルとすべて自分でアレンジするのは手間がかかると考える場合には、旅行代理店にまとめて依頼すると楽である。

最近では、インターネットでの購入も一般的で、エジプト航空の航空券であればエジプト航空のHP、エジプトを含む全世界のホテルや航空券であればExpedia等のHPがよく使われているようだ。

なお、エジプトでの旅行には、トラブルがつきものであると考えた方がよい。空港やダウンタウンで親切そうに声をかけてきて、旅行者に非常に高いツアーを売りつけようとするケース、ラクダに乗せておいて法外な値段を請求し、払わないと降ろさないケース、クルーズに参加したが部屋・サービスがひどいケース、航空機がいきなりキャンセルされるケースなど、観光にまつわるトラブル報告は枚挙にいとない。

トラブルを避けるため、また、トラブルへの対処のためにも、それぞれの窓口では冷静に腰を落ち着いて交渉するが必要で、また、予約確認を文書で取り付ける、領収書をしっかり保管しておく、多くの在留者から旅行前にアドバイスを受ける、早めに予約していたものについては旅行直前に再確認を行うなど、慎重に計画をたて準備をしておくことを勧める。

19. 私財の輸送、 引き取り、購入



Yellow Page

19-1 家財道具

(1) 輸送会社

航空便と船便を利用する方法がある。日本からの発送会社については、赴任前のブリーフィング実施時等に関連情報を得ることも出来る。

現地での引き取りは、下記の輸送会社に依頼すれば、空港や港での通関、引き取り、輸送(自宅、事務所などの指定された場所まで)を一括して代行してくれる(詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・Gateway Freight Systems (ゲートウェイ・フレイト・システムズ社)
- ・Suntra Express (サントラ・エクスプレス社)

(2) 輸入手続き

通常荷物の引き取りには、パスポート(オリジナル)、インボイス、航空券(発送の場合)、パッキングリスト、B/L(船荷証券)のほか、本人から輸送会社に対する委任状が必要である。

個人での通関、引き取りはアラビア語での対応となるほか、手続きが非常に繁

雑なことから、勧められない。

アナカンは、荷物が現地に到着してから通常約10日程度で引き取ることが出来るが、当面の生活用品や常備薬等は同時携行とするほうがよい。日本からのアナカン(別送荷物)の宛先は、事務所気付け本人宛とするのがよい。エア・カーゴ(荷物が日本を出てから現地に到着するまで約1カ月)や船便(同約3~4カ月)は時間がかかるので、必要最小限のものは同時携行か航空便(同約2~3日)のアナカンで送付することをお勧めする。なお、缶詰以外の食料品を送付する場合には、船便は勧められない。

アナカンを含めて、別送荷物は通関時にすべて中身が検査される。検査時に荷物が紛失する可能性もあるため、内容品リストはできるだけ細かく、個数を明らかにして作成しておくこと。荷物は乱雑に取り扱われるケースが多いということを予め念頭に置いておくこと。

なお、パソコンの持ち込みは1台であれば大半の場合問題はないが、カラープリンター、スキャナー、カラーコピー機などは、紙幣の偽造防止という理由で引き取りに非常に時間がかかり、預かり置きになることがある。

(3) 輸入貨物の受け取り港

アレキサンドリア港、ポートサイド港。

19-2 自動車

(1) 一般状況

エジプトには自国産製の自動車はないが、各部品を輸入して組立製造する先進国メーカー系列の国内組立自動車産業がある。エジプト政府はこのような国内自動車関連産業の育成のため、完成車の輸入には高率関税(排気量により50~165%)を課している。

国内組立自動車は、公営のナセル自動車会社と提携するフィアット、プジョー、GM(オペル)、ヒュンダイ、スズキ、メルセデス・ベンツなど10社が車種を限定して生産販売している。また、2006年から日産がサニー及びエクストレイル(4WD)の現地組立生産を開始している。日本や欧州からの輸入車に比べると、一般的に故障は多いといわれている。

輸入車は、大手の代理店を通じて、Nasr City(ナセルシティー)、Port Said(ポートサイド)などのフリーゾーン(免税地域)にすでに在庫としてある車両か、サウジ・アラビアなどの海外から買い付けた上で販売されている。

維持管理が容易な輸入車は、国内組立自動車と同じものか、販売台数の多い車に限られている。販売台数が少なく、販売網の小さい輸入メーカー車のスペアパーツの補給、修理態勢は整っているとはいえず、こうした車両を購入する際には注意が必要である。

なお、エジプトの車両の仕様は、耐熱、耐乾燥仕様車(中東向け)、左ハンドル、有鉛ガソリン車である。

(2) 輸入手続き

日本から車両をエジプトに搬送する際には、現地業者に対応を依頼、実施している。

(3) 現地での購入

一般的に、車両の購入、譲渡、登録などの各種手続きには、一定の時間と労力がかかることを十分認識し、できるだけ早いうちから準備に取り掛かることをお勧めする。

< 課税車の購入 >

課税車とは、すでに関税を支払っている車両(いわゆる一般の車両)であり、基本的に外国人であっても誰でも購入できる。購入時に関税を支払っているため、その分割高ではあるが、離任時に一般市場に売却することができるほか、課税保留車よりも購入や登録手続きが容易であるというメリットがある。

< 価格ほか >

エジプトで生産、または輸入されている代表的な新車のおおよその値段(税込み)は、次のとおりである。特に記載のないものは、国内組立生産のマニュアル車で、輸入車については購入が容易(スペアパーツの入手可能)な車種を記載した。なお、日本のように中古車の値段が極端に下がることはない。

Hundai/Accent 1.6(輸入車) : LE9万2000

Hundai/Elantra 1.6(輸入車) : LE9万6000

Toyota Corolla/1.6(輸入車) : LE14万8000

Mitsubishi Lancer/1.6(輸入車) : LE10万2000

Nissan Sunny/1.6(現地生産) : LE8万7000

(LE1 = 約12.75円、2011年10月現在。いずれもマニュアル。)

中古車は、英字紙などに外国人が所有していたものが売りに出されるといった情報が掲載されることもあるが、それ以外の中古車は一般的に古かったり未整備であったりして後々トラブルとなるケースもあり得ることから、余り勧められない。

(4) 自動車登録

車両を所有する際には、車の所有権を示す自動車登録をする必要がある(購入した場合には、代理店などに手続きを代行してもらうよう手配することが望ましい)。登録の有効期間は通常1~3年とあるが、査証の有効期間内しか自動車登録の有効期間が与えられない場合もある。

また、自動車登録の更新は、パスポートを持って居住管轄区内(ただし、課税保留車の場合には車両が入港した港の管轄)の運輸局に出向いて行わなければならない。費用は車両の排気量により異なるが、登録料、強制保険料込みでLE 1500程度である。その際、前回の自動車登録以降の交通違反の罰金も支払う必要がある。

これらの手続きはすべてアラビア語でなされるため、所有者が代理人(経験あるドライバーのほか、手続きを代行してくれる代理店がある)に一連の手続きを委任するレターを作成することで、代理人に手続きを行わせることができる。当該委任レターの作成は関係機関に依頼する。

(5) 免許証取得

該当情報なし。

(6) 保険、税金

エジプトの保険には3つのカテゴリーがあり、登録時の強制保険(自動車登録時に運輸局で支払うもの)、所有者以外の運転手などが運転することを可能とする保険(運転手などが事故を起こした際の訴訟費用を対象としたもの)、任意保険がある。運転手を雇う場合には、前者の2つの保険には必ず入る必要がある。

エジプトの任意保険は車両保険(自損事故)と同乗者保険が一般的であるが、保険の概念が普及していないため非常に高額である。新車ほど保険料が高くなるが、日本車はスペアパーツが割高であるため、いっそう高くなっている。日本人が最も必要とする対人、対物保険はさらに高額である。

車両登録時に入る強制保険は対人も対象であるが、実際には裁判の結論が必要であり現実的ではない。

事故などの際の保険金支払い請求には、必ず警察の事故証明が必要である。

なお、エジプトの交通事情により、在留日本人の多くが運転手を雇用しており、自分で運転していないことから、個人で任意保険に入っている人は少ない。

大手の自動車保険会社は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。



・Arab Misr Insurance Group

20. 地方都市



<アレキサンドリア>

・首都からの交通手段 : 特急列車で約2時間30分。特急列車は1時間に1本程度で1等車でも片道LE50。大型バスが1時間に1本程度出ている。

・気候 : 首都カイロが半砂漠性気候区域に属するのに対して、アレキサンドリアは地中海性気候区域に属しており、冬季には雨も降る。

人口約400万人と言われる大都市であり、物資も豊富であるが、カイロのように限られた日本食ですら入手することは難しい。

なお、アレキサンドリアは観光地であり、特に夏にはエジプト人、湾岸諸国からの避暑客でにぎわう。魚介類も豊富である。

<ポートサイド>

・首都からの交通手段 : 車、バスで約3時間半。大型バスは2時間に1本程度出しており、片道LE 25。

・気候 : アレキサンドリア同様、地中海性気候区域に属しており、冬季には雨も降る。

人口約30万人。

< ハルガダ >

・首都からの交通手段 : 大型バスは1時間に1本程度出ており、約7時間。片道約LE 100

航空便は1日7便程度飛行時間約1時間。片道LE400程度。

・気候 : 砂漠性気候。夏は摂氏40度を超える。

人口約10万人。国際的な観光地である。

Part 3 イエローページ

*特に記載がない限り、JICA事務所のあるカイロの情報になっています。

1. JICA 事務所

所在地	8 th Floor, World Trade Center, 1191 Corniche El Nile St., Boulak, Cairo
TEL/FAX	TEL : +20 (エジプト国番号) -2-25748240 ~ 2/25748244/27736090 ~ 1 FAX : +20-2-25748243
URL/E-mail	URL : http://www.jica.go.jp/egypt/ E-mail : eg_oso_rep@jica.go.jp

2. 日本大使館

所在地	81 Corniche El Nil Street, Maadi, Cairo Egypt
TEL/FAX	TEL : 02-2528-5910
URL	http://www.eg.emb-japan.go.jp/

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: 02-2528-5910
警察	TEL: 122
消防	TEL: 124
救急車	TEL: 123

*警察、消防、救急は、アラビア語しか通じず、呼んでもなかなか来ない。

4. ホテル、アパート

Conrad Hotel (コンラッド)	1191 Corniche El Nile, Cairo TEL: 02-25804710 FAX: 02-25808080 URL: http://conradhotels1.hilton.com/en/ch/home.do *JICA事務所に隣接。
Hotel Flamenco Cairo (フラメンコ)	2 El Gezira El Wosta St. Abu El Feda, Zamalek, Cairo TEL: 02-27350815 FAX: 02-27359312 *モスク近接。ファストフード店やスーパーが近接。JICA事務所から車で15分。最も利用頻度が高い。 URL: http://www.flamencohotels.com/cairo/home.php
Semiramis Intercontinental Hotel (セミラミス・インターコンチネンタル)	Corniche El Nile, Cairo TEL: 02-27957171 FAX: 02-27963020 URL: http://www.ichotelsgroup.com/intercontinental/en/gb/locations/croha *アメリカ大使館に隣接しており、利用時には留意が必要。
Safir Cairo Hotel (サフィール・カイロ)	El Missaha Sq., Orman, Dokki, Giza TEL: 02-37482828
Ramses Hilton Hotel (ラムセス・ヒルトン)	1115 Corniche El Nile, Cairo TEL: 02-25804710 FAX: 02-25799816 ~ 7 (Reservation Center) URL: http://www.hilton.co.uk/ramses *デモが頻発するタハリール広場に近く、2011年1月以降利用を見合わせている。
President Hotel (プレジデント)	22, Dr. Taha Hussein St., Zamalek TEL: 02-27350652 URL: http://www.presidenthotelcairo.com/ *レストランやカフェ、バーを併設している。
Horus Hotel (ホルス)	21 Ismail Muhammad, Zamalek TEL: 02-27353634 FAX: 02-25753182

5. 不動産会社

Conserve Co.	17 A Mohamed Mazhar St., Zamalek TEL: 02-27351811/7363463 FAX: 02-27363463
--------------	---

6.美容院

店というよりも、その時々スタッフの評判による部分が多いため、現地の口コミ情報を参考にした方が良いでしょう。

7.飲食店

Arabisque (アラベスク)	6 Kasr El Nile St. TEL:02-25748677 外国人向けのエジプト料理店である。アルコール類あり。店内はアラベスク調で、バーがあり雰囲気もよい。会食は10人前後が限度。1人100エジプトポンド(LE)~。
Abou El Seed (アブ・エル・シード)	Zamalek店:157, 26 th of July St. TEL: 02-735-9640 Dokki店:8 Amman Sq. Tel: 02-37497326 外国人も行く高級エジプト料理店でモロヘイヤ料理、ハト料理、タジンが美味である。アルコール類もある。1人100LE~
Felfera Restaurant (フェルフェラ)	15 hoda Sharaawi St. Down Town TEL: 02-23922833 外国人観光客(ツアー客も含む)がよく訪れるレストラン。1人LE60~アルコール類あり。
El Omda (エル・オムダ)	6 El Gazayer st. (アラブ連盟通り付近) TEL:02-33454320 エジプト人が行く中級料理店。コシャリ、シャウルマ等のテイクアウトもあり。アルコール類なし。1人LE40~
<エジプト料理>	
*その他ホテル内、船のレストラン(以下の船のレストラン参照)にもあり。	
<レバノン料理>	
Taboula (タブーラ)	1 Latin America St. Garden City TEL: 02-27925261 外国人も行くレストラン。アルコール類もあり。1人LE80~
Sabaya (サバヤ)	Conrich El Nile (Semiramis Intercontinental Hotel内) TEL: 02-27957171 インターコンチネンタルホテル内にある高級レバノン料理店。アルコール類あり。1人100LE~
Aladin (アラディン)	Cairo Sheraton Hotel TEL:02-33369700 生バンドの演奏あり。21:00からはベリーダンスのショーがある。1人LE100~。
Raoucha & Kandahar (ラウチャ&カンダハール)	3 Gament El Dowal El Arabia St., Mohandeseen, Giza TEL:02-33030615 インド料理店カンダハールの隣にあるレバノン料理店。アルコール類あり。一人150LE~
<西洋料理>	
Justine (ジャスティン)	Four Corners, 4 Hassan Sabry St., Zamalek TEL:02-27365640/27362961 最高級フランス料理店で、雰囲気、サービスともに良好である。味もよく、フランス料理店として推薦できる。20人程度の会食も可能(要予約)である。なるべくネクタイ、スーツ着用が望ましい。1人LE200~。
Charwoods (シャーウッド)	53 Gamaat El Dowal El Arabia st. (アラブ連盟通り) TEL: 02-37490893 外国人に人気の肉料理及びピザ店。アルコール類もあり。1人100LE~
La Bodega (ラ・ボデガ)	75, 26 July St., Zamalek TEL:02-27362183 手ごろな値段で味わえるフランス料理店である。味は平均してよく、雰囲気もよい。1人LE150~。
Tirol (チロル)	Geziret Arab St., Mohandeseen, Giza TEL:02-33449725
Crave	22 A Dr. Taha Hussein St. Landmark:China Embassy, Zamalek 30 Rd.213. Maadi LE100~。 TEL:02-2736-3870(Zamalek), 02-2519-8443(Maadi) イタリアンレストラン
Pano Vino (パノ・ヴィラ)	Corniche El Nil Tel: 02-27957171 インターコンチネンタルの2階にあるイタリアン。アルコールあり。味がよく、サービスがきちんとしており、眺めもよい。1人LE100~。
Le Carnaval	48 Micheal Bakhoum St.Dokki, Giza TEL:02-33388902 1階はケーキ屋で2階はレストラン。イタリアン中心

Blackstone Bistro	22 Taha Hussein St.Landmark: Beside Zamalek Residence Cairo Hotel Zamalek, Cairo TEL: 02-27352522 4 Aly El Kordy St.Landmark: behind Sofitel Cairo Maadi Towers & Casino Maadi, Cairo TEL: 02-25281661
La Mezzaluna	118 Aziz Othman St. Intersection Of 26th Of July St.Landmark: Beside El Gomhoureya Fish Zamalek, TEL:02-27352655 イタリアンレストラン
< 中国及び韓国料理 >	
Fusion(フュージョン)	Entrance-Cornish El Nile TEL: 02 - 2380 - 0210 02 - 2380 - 0174 鉄板焼のテーブルがあり。週末は要予約。一人150LE ~
Paxy(パクシー)	Amoun Hotel, Sphinx Sq., Mohandeseen, Giza TEL:02-33473928 韓国料理および中華料理で、味には定評がある。1人LE70 ~。
Hana(ハナ)	Hassan Basha Asim St., Zamalek TEL:02-2736-7873 韓国料理および中華料理で、テーブルで焼き肉が可能。1人LE70 ~。
Chopstick(チョップスティック)	23B Syria St., Mohandesseen TEL:02-33048567 中国料理で味もよく、清潔である。デリバリーもしてくれる。1人LE70 ~。
Peking(北京)	23B Ismail Mohamed St., Zamalek TEL:02-27363894 値段、味ともに平均といったところである。店内の照明が暗い。Mohandeseen (モハンデシーン)に2軒、Maadi (マアディ)に1軒支店があるが、アルコールがあるのはZamalek (ザマレク)のみである。1人LE70 ~。
Spice (スパイス)	1089 Corniche El Nile, Garden City (Four Season Hotel内) TEL:02-37917000 飲茶もある高級中華レストラン。1人150LE ~
Gaya	32 Rd. 253 Landmark: beside Seoudi Market Degla, Maadi, Cairo TEL: 02-25199860 韓国料理
China Winds	5 Rd. 208 Degla Sq.Degla, Maadi, Cairo TEL: 02-25196039 中華料理
< インド料理 >	
Kandahar(カンダハール)	3 Gament El Dowal El Arabia St., Mohandeseen, Giza TEL:02-33030615 本格的なインド料理店でサフランを使ったカレー料理がおいしい。雰囲気はまあまあで、アルコールも出る。1人LE100 ~。
Maharaja(マハラジャ)	1115 Corniche El Nile, Cairo TEL:02-25758000 ラムセス・ヒルトン内にあるインド料理レストラン。店内が明るく清潔。味は高級なインド料理。カンダハールと似た味付け。
< 日本料理 >	
おかもと	7 Ahmed Orabi St. Mohandeseen. TEL: 02-33465264 中東で最初の日本料理店、といわれているレストラン。納豆の注文も受け付けている。1人LE50 ~
Jo Sushi(じょうずし)	47 Mohamed Mazhar St. Zamalek TEL:02-27357746 エジプト人経営(シェフもエジプト人)の日本料理レストラン。寿司以外にも各種メニューあり。アルコール類あり。1人50LE ~
Torii(とりにい)	Saraya El Gezirah St. (Marriott Hotel) TEL:02-27358888 マリオットホテル内の和食レストラン。シェフはフィリピン人。1人LE100 ~
Mori Sushi(もりすし)	19 El Gablaia St. Libon Bldg., Zamalek TEL: 02-27350206 他市内にチェーン店多数 日系ブラジル人経営の店。寿司が主体。アルコール類はない。

Sapporo (サッポロ)	Sheraton Cairo Hotel 1F TEL:02-33369700 鉄板焼きが専門。営業時間は12:30～15:00、19:00～0:30。
Bob Sushi	3 El Sad El Aaly St. Off El Galaa Sq. TEL:02-33357467 店舗は2テーブルしかなく、狭い。デリバリーが可能。
HAIKU	Fairmont HELIOPOLIS, Uruba St. Heliopolis, Cairo TEL:02-2267-7730/40 寿司などの和食。日本酒、梅酒がある。日本人シェフがいる。日中の営業時間は要確認。一人200LE～
SHOGUN	Inter Continental Cairo City Stars TEL:(+20) 2 24800 100 寿司、鉄板焼きがある。安倍首相、経団連ミッションの方々も利用したレストラン。一人250LE～
< タイ料理 >	
Lai Tai (ライ・タイ)	35 Giza St. (Four Seasons First Residence内) TEL: 02-25731212 フォーシーズンズホテル内にある高級タイ料理店。1人150LE～
Bua Khao (ブア・カオー)	9, Rd., 151 Maadi TEL:02-23580126 タイ人経営のレストラン。トムヤムクン、タイカレー、デムサム(肉まん)などがおいしい。1人LE80～。
< シーフード料理 >	
Fish Market (フィッシュマーケット)	26 El Nile St. Giza (Americana Boat) TEL: 02-35709693 魚介類を選んで好みの料理方法で料理してもらえる。アルコール類もあり。1人100LE～
< 船のレストラン(遊覧船) >	
Nile Maxim (ナイル・マキシム)	Saraya El Gezira, Zamalek (マリオットホテル前) TEL: 02-27358888 マリオットホテルのクルーズ式レストラン。ナイル川を2時間遊覧しながら食事を楽しむことができる。ペリーダンス、スーフィードダンスショーもある。料理はアラブ料理中心。アルコール類あり。1人200LE～
Nile Pharao (ナイル・ファラオ)	138 El Nile St. Giza (フォーシーズンファーストレジデンス裏) TEL:02-35701000 ナイル川を2時間遊覧しながら食事を楽しむことができる。ペリーダンス、スーフィードダンスショーもある。料理はアラブ料理のビュッフェ。アルコール類あり。1人150LE～
*遊覧船式のレストランは出港時間が決まっている(19:30か20:00)ので要確認。	
< 船のレストラン(固定式) >	
Le Pacha 1901 (レ・パシャ)	Saraya El Gezira St. Zamalek TEL: 02-2735-6730(代表) L ASIATIQUE (アジア料理)、River Boat (レバノン料理・魚料理)、Le Steak (フレンチ)、Il Piccolo Monde (イタリア料理)、Akl Zaman (エジプト料理)等のレストランが船内にある。アルコール類あり。
Blue Nile (ブルーナイル)	9a Saraya El Gezira St. Zamalek TEL: 02-2735-3114/12(代表) Asia Bar(アジア料理)、Splendido(イタリア料理)、Al Mawal(レバノン料理)、Dar El Amar(レバノン料理 / 夏季は屋外)、El Morocco(モロッコ料理)等のレストランが船内にある。アルコール類あり。
< 喫茶店、カフェ >	
市内(Zamalek, Mohandeseen, Downtown, Dokki)に数多くあり Cilantro, Beenos, Costa Coffee, Coffee Roastery, Marriott Bakery Café, Trianon, POUL CAFE 等チェーン店が多い。 最近ではワイアレスインターネットサービスを提供しているカフェも多い。	
< デリバリー >	
インターネットからファストフード等のデリバリーが可能。 OTLOB: 要初回登録。 http://www.otlob.com/	
8.スーパーマーケット(食料品、家電製品、日用雑貨)	
Metro(メトロスーパー)	Mohandeseen(モハンデシーン)店 TEL:02-33025035 Dokki(ドッキ)店 TEL:02-33389569

	Zamalek(ザマレク)店 TEL:02-27356902
	営業時間:24時間
	食料品・日用雑貨を取り扱っている。
Alfa Supermarket(アルファスーパー)	
	Maadi(マアディ)店 TEL:02-25256400
	Giza(ギザ)店 TEL:02-35701015
	Dokki(ドッキ)店:02-33382280
	このほかZamalek(ザマレク)店がある。
	営業時間:9:00~22:00(ザマレク店)
	肉、乳製品を含め缶詰、びん詰、冷凍物、調味料、パン、菓子類など各種の食料品が購入できる。アジア食品のコーナーもあり、高値であるが日本食も一部販売している。
Carrefour(カルフォー)	
	Marsh Saty Moktm, New Maadi Center
	TEL:02-5204230 FAX:02-25204231
	URL: http://www.carrefour.com
	営業時間:10:00~20:00
	アレキサンドリア砂漠道路 Dandy Mall内
	フランス系列の大規模スーパーである。食料品のほかにも家電製品や雑貨を多数置いている。着任後に必要となるものはすべて見つかる。休日の午後は大量の買い物をするエジプト人でごった返している。
Spinneys(スピニーズ)	
	Intercontinental Hotel Heliopolis, City Star (Mall)内、Arabia mall内(6 October city)

9. 工具・素材

DARY(Building & Decoration Shopping Center)
330 Al Haram St.,Giza
TEL:02-35878086~7
DIY専門店

10. 病院・クリニック・薬局

< 総合病院 >

As Salam International Hospital
所在地: Corniche El Nile, Maadi
電話: 2524-0250 FAX: 2524-0066
診療時間: 10:00 ~ 16:00
診療科目: 内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・外科・消化器外科・心臓外科・泌尿器科・歯科・脳外科・整形外科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・産婦人科・精神科・放射線科・麻酔科
日本人スタッフ: なし
入院の可否: 可
入院費/1日あたり: 100~500 エジプトポンド、入院前金 3000~4000 ポンド
予約の必要性: なし
URL: www.as-salam.org
Misr International Hospital
所在地: 12El Saraya St., Dokki
電話: 33356555
FAX: 33613228
診療時間: 10:00 ~ 18:00
診療科目: 内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・小児科・皮膚科・精神科・外科・心臓外科・脳神経外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科・形成外科・腎臓内科・放射線科・歯科
日本人スタッフ: なし
入院の可否: 可
入院費/1日あたり: 110~400 エジプトポンド、入院前金 500~1000 ポンド
予約の必要性: なし
備考: 1993年1月より海外労災友好提携病院
Anglo American Hospital
所在地: 3, Zohria Garden Gezira Area Cairo (Next to cairo Tower)
電話: 27356162
診療時間: 9:00 ~ 14:00
診療科目: 内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科・形成外科・腎臓内科・リハビリテーション科
日本人スタッフ: なし
入院の可否: 可
入院費/1日あたり: 150~175 エジプトポンド、入院前金 1000 ポンド
備考: 1993年1月より海外労災友好提携病院

El Safa Hospital
所在地: 40Iraaq St., Mohandessen
電話: 33361010
FAX: 33498750
診療時間: 9:00 ~ 14:00
診療科目: 内科・消化器内科・外科・消化器外科・心臓外科・泌尿器科・整形外科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・産婦人科・放射線科・麻酔科
日本人スタッフ: なし
入院の可否: 可
入院費/1日あたり: 150 ~ 300 エジプトポンド、入院前金 1000 ポンド
備考: 24 時間対応の検査室を所有している。

< 開業医(クリニック) >

Dr. Ahmed Khalil Clinic
住所: 5 th 92El Tahrir St., Dokki
電話: 3769-6985
診療科目: 眼科
診療時間: 19:30 ~ 22:00(土、日、月) 14:00 ~ 16:30(月、水)
入院の可否: 不可
予約の必要性: あり
URL: www.eyecairo.net

Dr. Nevin Foad Clinic
住所: 10 Syria St., Mohandessin
電話: 3760-1605
診療科目: 産婦人科
診療時間: 12:00 ~ 15:00
入院の可否: 不可
予約の必要性: あり

Dr. Mohamed Omar Clinic
住所: 14 Demashk St., Maadi
電話: 2519-0516
診療科目: 小児科
診療時間: 10:00 ~ 13:00
入院の可否: 不可
予約の必要性: あり
E-mail: omarped@hotmail.com

Dr. Samir Fanous Clinic
住所: 18 Mohamoud Bassyuni St., Kasr El Nile
電話: 2762-5479
診療科目: 整形外科
診療時間: 19:30 ~ 22:00
入院の可否: 不可
予約の必要性: あり
E-mail: sfanous@link.net

Dr. Ahmed Said Clinic
住所: 7 th 92El Tahrir St., Dokki
電話: 3762-5922 Fax: 3748-5690
診療科目: 歯科
診療時間: 9:00 ~ 20:00(土 ~ 水) 9:00 ~ 16:00(木)
入院の可否: 不可
予約の必要性: あり
E-mail: said4444@internetegypt.com

< 薬局 >

薬局名: Abou Khaled Pharmacy
所在地: World Trade Center (コンラッドホテル側)
電話: 25804017/4018
備考: JICA エジプト事務所から一番近い。チェーン店がカイロ市内 8 箇所、アレキサンドリアに 3 箇所あり

薬局名: New Universal Pharmacy
所在地: 12, Al-Brazil St., Zamalek
電話: 2735-4896
備考: 邦人が最も住んでいる Zamalek 内の薬局

薬局名: New Victoria Pharmacy
所在地: 6 Brazil St., Zamalek
電話: 2735-1628
備考: 邦人が最も住んでいる Zamalek 内の薬局

薬局名: El Ezabi Pharmacy
所在地: 11 Syria St., Mohandeseen
電話: 3304-1647/1847
備考: 常時混んでおり、稼動がよい。

11. 銀行

CITI Bank Egypt
営業時間: 8:30 ~ 14:30 (ATM24時間無休)
URL: http://www.citibank.com/egypt/homepage/home.htm
問い合わせ: CitiPhone TEL: 16644
*利用実績があるのはGarden City支店

HSBC Egypt
営業時間: 8:30 ~ 14:30 (ATM24時間無休)
URL: http://www.hsbc.com.eg
問い合わせ: HSBC Call Center TEL: 19007
*利用実績があるのはZamalek支店

12. レンタカー

Seif Limousine
TEL: 012375 4868 FAX: 35715223
seiflimousine@yahoo.com

Top Misr Gulf
TEL: 010 187 7487 Fax: 33376886

Way Rent a Car
TEL: 02-24151693, 012- 392 7010 (携帯) (Mr. Gamil)

13. 自動車修理

Fuji Industry Co.
Nasr City Public Free Zone
TEL: 02-22706512, 012-2108048 (携帯) FAX: 02-22609871

14. 電話・携帯電話

Telecom Egypt 33 Ramsis St., Cairo
TEL: 02-0800-2222222 FAX: 02-27356522/27356144
URL: http://www.telecomegypt.com.eg/english/
E-mail: telecomegypt@telecomegypt.com.eg

Mobinil TEL: (カスタマー・サービス) 012-3202110
URL: http://www.mobinil.com/
[Mobinil Shop]
・World Trade Center: Cairo
1191 Corniche El Nile St., Boulak, Cairo
・Mohandeseen: Cairo
39 Shehab St., Mohandeseen, Giza

Vodafone URL: http://www.vodafone.com.eg/
[Vodafone Stores]
Mohandeseen in Store
19, 26 July St., Sphinx Sq., Monhandeseen
TEL: 02-33445271/33445273 FAX: 02-33445272

15. インターネット・プロバイダー

< 無料インターネット接続サービス >

Link dot Net TEL:0777-0777

TE Data S.A.E. TEL:0777-7777

Internet Egypt TEL:0707-7777

[無料インターネット接続サービスの設定方法]

ユーザーID:なし

パスワード:なし

DNS設定:なし

モデムのプロパティで「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外す。

ホテルからは外線発信番号「0,(ゼロコンマ)」'9,'が必要。

< インターネット・サービス・プロバイダー >

* サービス内容は各社に要確認。ダイヤルアップの他、ADSL回線サービスもあり。

Link dot Net URL: <http://www.link.com.eg/>TE DATA S.A.E URL: <http://www.tedata.com/>Mobinil: www.mobinil.comVodafone: www.vodafone.com.egEtisalat: www.etisalat.com.eg

16. 郵便局

Central Post Office

Ataba Sq., Ataba, Cairo

TEL:02-23912614

営業時間:24時間

Dokki Post Office

Nadi El Seid St., Cairo

TEL:02-33372792

営業時間:9:00 ~ 14:00 (金曜日休業)

Zamalek Post Office

El Brazil St., Zamalek, Cairo

TEL:02-27351933

営業時間:9:00 ~ 14:00 (金曜日休業)

17. 国際宅配サービス

OCS(Overseas Courier Service)

9 Darih Saad St., Garden City, Cairo

TEL:02-27933337

E-mail: ocscal@intouch.com

営業時間:9:00 ~ 21:00 (休業日は不定期)

日本までの料金(目安):1kg約LE90

DHL Egypt W.L.L.

El Mona Towers,16 Lebanon St., Mohandeseen, Giza

TEL:02-33029801

営業時間:24時間年中無休

日本までの料金(目安):1kgで約LE400

18. 日本人会

カイロ日本人会

#15(F5), 7 Aziz Osman St., Zamalek, Cairo

TEL:02-27367949

19. 教育機関

< 日本人学校 >

Cairo(カイロ)日本人学校

Nazelt El Batran El Ahram, Giza (Giza地区 Sakkara 街道より西へ500m入る)

TEL:02-33842262 FAX:02-33858015

URL: http://www010.upp.so-net.ne.jp/cairo_jpnsc/ E-mail: crjpnsc@zf7.so-net.ne.jp

< インターナショナルスクール >

Cairo American College(CAC)

Road 210, Digla, Maadi

TEL:02-25196665

	URL: http://194.79.113.147/ E-mail: support@cacegypt.org
	対象学年: 幼稚園から12年生まで
	授業料: 5800 ~ 6000米ドル / 学期 (幼稚園を除く)。
The British International School, Cairo	
	5 El Yemeni St., Zamalek
	TEL: 02-27368905
	URL: http://www.bisc.edu.eg/ E-mail: info@bisc.edu.eg
	対象学年: 幼稚園からupper6まで
	授業料: 1700 ~ 2300英ポンド / 学期 (幼稚園を除く)。
< 小学校 >	
Cairo British School	
	39 El Kods Elaharif Street, Off Shehab Street, Mohandeseen
	TEL: 202-33460109
	URL: http://www.cairobritishschool.com E-mail: contact@cairobritishschool.com
	対象学年: NurseryからYear6まで
	授業料: 10500エジプトポンド ~ / 学期。
< 幼稚園 >	
きらりっこくらぶ	
	13 Brazil Street, 5 th Floor, Flat64, Zamakek, Cairo
	TEL: 02-27368722
	URL: plaza.rakuten.co.jp/kiraricco/ E-mail: kiraricco-club@hotmail.co.jp
	対象年齢: 未年児 ~ 6歳
	使用言語: 日本語
	授業料: 1500エジプトポンド / 月
Cairo American College (CAC)	
	Road 210, Digla, Maadi
	TEL: 02-25214003
	URL: http://194.79.113.147/ E-mail: support@cacegypt.org
	対象年齢: 4 ~ 5歳
	使用言語: 英語
	授業料: 4000 ~ 6000米ドル / 学期
The British International School, Cairo	
	5 El Yemeni St., Zamalek
	TEL: 02-27368905
	対象年齢: 4 ~ 5歳
	使用言語: 英語
	URL: www.bisc.edu.eg E-mail: info@bisc.edu.eg
	授業料: 900英ポンド / 学期
Fun Tots International Nursery	
	9 El Kamel Mohamed St., Zamalek
	TEL: 02-27354447
	対象年齢: 2歳以上
	使用言語: 英語
	授業料: LE650 / 月 (入園児に LE75 別途必要)
Cairo International Kindergarden	
	7 Abdel Moneim Sanad St., Mohandeseen, Giza
	TEL: 02-33472558
	対象年齢: 年少 (Red)、年中 (Blue)、年長 (Green)
	使用言語: 英語
	授業料: LE570 / 月 (送迎バス代込み、入園時に LE200 別途必要)
Jennifer's International Pre-School	
	3 El Managim El Mahagir St., Mohandeseen, Giza
	TEL: 02-33026427
	E-mail: jfpates@hotmail.com
	使用言語: 英語
Morning Star (保育所)	
	Masaken Sakrik Lesi, New Maadi
	TEL: 02-27043787
	対象年齢: 0 ~ 4歳

使用言語: アラビア語、英語
 授業料: LE200 / 月

20. 図書館

在エジプト日本大使館広報文化センター

81 Corniche El Nil Street, Maadi, Cairo Egypt

TEL: 02-2528-5903

利用時間: (日～木曜) 9:00～16:00

ただし、映画上映等がある場合はこの限りでない。

大使館に併設されているので入館には身分証明書類が必要。

国際交流基金 Cairo Center Bldg., 2 Abdel Kader Hamza St., Garden City, Cairo

TEL: 02-27949719

利用時間: (日～木曜) 10:00～17:30

利用前に会員になる必要がある

British Council 192 El Nile St., Agouza, Cairo

TEL: 02-33031514

4 El Minya St., Heliopolis, Cairo

TEL: 02-24523395

9 Batalsa St., Bab Sharki, Alexandria

TEL: 03-24840813

URL: <http://www2.britishcouncil.org/Egypt>

CSA (Community Services Association)

#4 road 21, Maadi, Cairo

TEL: 02-23585284/23580754/27688232 FAX: 02-27688319

URL: <http://www.csa-egypt.com/> E-mail: csaegypt@link.net

利用時間: (日・火曜) 9:00～21:00、(水曜) 9:00～17:00

French Culture Center

1 Madrasat El Huquq El Frinseya St., Mounira

TEL: 02-27953725

利用時間: 曜日によって異なる。

21. 日本の新聞、出版物の購読

OCS (Overseas Courier Service)

9 Darih Saad St., Garden City, Cairo

TEL: 02-27933337

宅配も可能である。2～3日遅れで配達される。「朝日新聞」「日本経済新聞」についてはロンドンで発行している国際衛星版(第13版)が1日程度の遅れで届けられる。

22. スポーツ施設

< ゴルフ場 >

Mena House Oberoi Golf Club (メナハウス・ゴルフクラブ)

Pyramids' Road, Giza

TEL: 02-33833222/33833444 FAX: 02-33837777

URL: <http://www.oberoihotels.com/> E-mail: obmhosm@oberoi.com.eg

料金: フィーLE60(エジプト在住者)、キャディーLE35程度

ピラミッドに隣接するコース。

Dreamland Golf Club (ドリームランド・ゴルフクラブ)

Six of October Road, Dreamland City, Giza

TEL: 02-38400561 FAX: 02-38400887

URL: <http://www.dreamlandgolf.com/> E-mail: inquiry@dreamlandgolf.com

料金: フィーLE250(電動カート付き)

ヒルトングループ

Soleimania Golf Village (ソレイマニア・ゴルフクラブ)

55 Cairo-Alexandria Desert Road, Giza

TEL: 049-600954 / 02-23353688

料金: LE100～150程度(電動カート付き)

< テニス、フィットネス >

Gold's Gym (ゴールドジム)

121 El Nile St., Dokki, Giza

TEL: 02-37480003

料金: 会員で年間800米ドル程度。ビジターの場合、全施設利用だと1回LE70(エアロビクスだけの場合、1回LE20)

Maadiにもある。
Gezira Sports Club (ゲジラ・スポーツクラブ)
Zamalek, Cairo
TEL: 02-27360434/27356000 FAX: 02-27367293
料金: ビジターの場合、入場料がLE100
古くからのスポーツクラブ。在留日本人の多くが住むザマレク地区に所在しているため、便利。ゴルフコースもある。
Katameya Heights (カッタメイヤ・ハイツ)
New Cairo City (Fifth District), Ring Road, Cairo
TEL: 02-27580512 ~ 7 FAX: 02-27580506
URL: http://www.katameya.com/ E-mail: katameya@egyptonline.com
料金: 家族会員で年間LE7000程度。
27ホールゴルフコースもある。会員とその紹介者のみ利用可能である。
*その他マリオット、コンラッド、ハイヤットホテル等にスポーツクラブがある。

<在留日本人テニスサークル>

GUTS テニスサークル
マリオットホテルのテニスコート
時間: 毎週土曜日 9:00 ~ 11:00 (初心者向け)

23. 趣味

カイロオペラハウス
Al-Burg, Gezira, Zamalek, Cairo
TEL: 02-23398144/23398132
URL: http://www.operahouse.gov.eg/operahouse/default.htm
料金: 公演ごとに異なる (LE25 ~ 100、超一流の公演の場合はLE1000程度)
アイーダ公演ギザピラミッドの特設会場 (Haram, Giza)
URL: http://www.operaid.com/
料金: 2003年は未定
旅行会社やホテルを通じてチケットを購入できる。
CSA (Community Services Association)
下記「語学学習」を参照。

24. 語学学習

British Council 192 El Nile St., Agouza
TEL: 02-23031514
URL: http://www2.britishcouncil.org/Egypt
英語、アラビア語、その他言語
Berlitz Language Center
2 El Meleha St., Dokki (その他2ヶ所)
TEL: 02-33381350 FAX: 02-33381352
URL: http://www.berlitz.com/ E-mail: ホームページからコンタクト可能。
料金: ホームページから直接問い合わせることができる。
英語、アラビア語、その他言語
American University Language School
28 Falaki St. Bob El-Louq
TEL: 02-27976872
英語、アラビア語、その他言語
CSA (Community Services Association)
4 Road 21, Maadi, Cairo
TEL: 02-23585284/0754/27688232 FAX: 02-27688319
URL: http://www.csa-egypt.com/ E-mail: csaegypt@link.net
料金: 2カ月単位 (週2回) で100米ドル
英・独・仏・西・アラビア語。語学以外にも趣味講座を多数開講している。

25. 旅行代理店

*印は日本人スタッフがいる代理店。

Misr Travel* 1 Talaat Harb St., Cairo
TEL: 02-23930010/0063 FAX: 02-23924440
URL: (日本語) http://www.misr-travel.net/ (英語) http://www.misrtravel.org/
営業時間: 支店によって異なる
American Express
15 Kasr El Nile St., Down Town, Cairo (ほかにも支店あり)

	TEL: 02-25747991 FAX: 02-25747997 URL: http://www.americanexpress.com/homepage/global_splash.html E-mail: tours@amexegypt.com 営業時間: 9:00 ~ 17:00
Thomas Cook	World Trade Center, 1191 Corniche El Nile St., Boulak TEL: 02-25780808 ~ 9 FAX: 02-25804310 E-mail: nkhaled@thomascook.com.eg 営業時間: 8:00 ~ 17:00
Bahi Travel Agency*	51 El Horeya St., Heliopolis TEL: 02-24178626/22905572 FAX: 02-22909667 URL: http://www.bahi-tokyo.co.jp/ E-mail: bahitvl3@ie-eg.com 営業時間: 10:00 ~ 16:00
Horus Tours*	36 El Mansour Mohamed St., Zamalek, Cairo TEL: 02-27364084/4054 FAX: 02-27358466 E-mail: horusjpn@link.net 営業時間: 9:00 ~ 17:00
Elegant Voyage*	F7, 5 Gezira El Wosta St., Zamalek TEL: 02-27360014/0054 FAX: 02-27368800 URL: http://www.elegantvoyage.com/japan E-mail: hodaale@pop.thewayout.net 営業時間: 10:00 ~ 18:00
Charisma	7El Idrissi St., Suit 107, Heliopolis TEL: 02-4140910 FAX: 02-4184645 E-mail: charisma@link.com.eg
H.I.S.Travel	11 Mohamed Hasanien Heikal St., 2nd Floor Flat No.05 Nasr City - Cairo Tel: 02-22750804 / Fax: 02-22750826 E-mail: cai@his-cairo.com

26. 輸送会社

Gateway Freight Systems (ゲートウェイ・フレイト・システムズ社)	10 Misr Lel Ta'ameer Bldgs. Apt 7, District 9, Sheraton Heliopolis, Cairo TEL: 02-22676693/7872 FAX: 02-22670793 日本人スタッフがいる。ヤマト運輸代理店。
Suntra Express (サントラ・エクスプレス社)	20 El Mathaf El Zeraey St., Agouza, Giza TEL: 02-33365161/33382173 FAX: 02-37605529 日通航空代理店。オーナーは日本人である。

27. 自動車保険

AMIG	13 El-Ma ahad El-Ishteraki St., Marryland, -Heliopolis TEL: 02-24517620/22/24 FAX: 02-24517595
Mohandes Insurance Co.	3 El Mesaha Sq. Dokki, Giza TEL: 02-33368101 ~ 5 FAX: 02-33352697
Suez Canal Insurance Co.	31 Mohamed Kamel Morsi St., El Mohandeseen, Giza TEL: 02-33601051/33606868 FAX: 02-33350981/33354070

エジプト事務所 安全対策の手引

(2011年7月20日改定)



はじめに

海外において外国人として生活する私たちは、日本とは異なるリスクにさらされながら勤務しています。治安が良いと言われ、毎年大勢の観光客を魅了しているここエジプトでも例外ではありません。

2011年2月のムバラク前大統領の退陣前後の混乱で、刑務所からは犯罪者が脱獄し、政変の影響で警察官の抑止力も低下、その結果、ひったくりや置き引き等の軽犯罪は増加傾向にあり、殺人・強盗といった凶悪犯罪も発生しています。

国際テロリストやイスラム原理主義者の動きにも注意を払う必要があります。エジプトでは、無差別テロの危険性も無視できません。2011年正月にアレキサンドリアで起きたコプト教会爆破事件を始め、過去には外国人観光客も犠牲となった1997年のルクソール事件や2004年・2006年のシナイ半島における連続爆破テロ事件が起きています。

これら潜在的な危険に対して、必要な予防措置を講じる必要があります。

自分の身は自分で守るという原則を堅持しつつ、犯罪の背景にある貧困、格差の問題を解決する国際協力事業の目的を達成できるよう皆さんと努めていきたいと思えます。また、自然災害を含めた緊急事態を想定した備えを行っておくことも必要です。

JICA エジプト事務所

<安全の手引き 目次>

- 0. 安全対策の基本的な考え**
- 1. エジプトにおけるリスク**
- 2. 日常生活における防犯・安全対策**
- 3. エジプトにおける交通事情と対策**

0. 安全対策の基本的な考え方

犯罪や事故に遭遇する可能性をゼロにすることはできませんが、適切な予防対策をとればその可能性と被害を小さくすることはできます。こうした対策の一部(情報収集及び共有や連絡体制整備など)を JICA 事務所は行っていますが、これらはあくまで補助的なものであり、最終的には自分と家族の安全は自分で守るということを認識し、常に犯罪の発生を考慮して万全の対策を講じた上で、日々注意して過ごすことが重要です。

安全対策のため、以下6点に留意してください。

- (1) **安全3原則の遵守**: 目立たない、行動を予知されない、用心を怠らない
- (2) **危機管理意識**: 自分の身は自分で守る
- (3) **治安情報の収集**(同僚・隣人、大使館、マスコミ等。)
- (4) **所在(場所及び連絡先)、同行者、移動手段等の明確化**
- (5) **緊急連絡手段の確保**: 携帯電話、固定電話
- (6) **銃器を所持した犯罪者に遭遇した場合、生命・身体の安全を最優先、無抵抗に徹する**

(1) **安全の3原則**については、当然のことのようですが、この3原則を守って生活することはそう簡単なことではありません。日本での行動形態、生活様式をそのまま海外に持ち込むと、本人が意識しているか否かに関わり無く目立ってしまい、自らを危険に曝すことになる場合もあります。

目立たない: 必要以上に華美な服装、装飾品を身につける、現地ではあまり見かけないような目立つ車に乗る、公共の場(レストラン、バーなど)で大きな声で現地の悪口を言う、政治、宗教、文化、習慣、生活環境などを批判することは、目立つばかりでなく恨まれる原因にもなるので、ご注意ください。犯罪者やテロリストは、標的を選ぶ際にまずは目立つ人物に目を付ける傾向があります。

行動を予知されない: 行動のパターン化(通勤、通学、買物、娯楽、外食の際の移動ルートや時間などの固定化)は犯罪者、テロリストなどに攻撃計画を立てやすくしますので、移動の際のルートや時間を含めなるべく不規則な行動をし、予測されにくくします。犯罪者にとって行動がパターン化した人は一番狙いやすいのです。

用心を怠らない: 現地に到着した当初は安全に気を配っていても、何箇月か現地で生活し慣れが生じてくると、当初注意していた点を忘れがちになり、思わぬ被害に遭うことがあります。また、現地の治安状況は予期せぬことが原因で大きく変化することもありますので、家族全員で気持ちを引き締める機会を定期的に持つことが必要です。

(2) (3) **危機管理意識・治安情報の収集**: 安全情報収集をJICA事務所に任せきるのではなく、自ら積極的に情報を収集し、対策を考えることが重要です。隣人と交流し現地社会に溶け込むことで様々な個人や組織との間でネットワークを構築することができます。そうすれば、自然と様々な情報が入ってきますし、いざというときに隣人の助けも得られる可能性が高まります。新聞・テレビから入手できる犯罪情報は限られており、現地コミュニティ、隣人などの「口コミ」情報は、地域の状況を把握するうえで極めて貴重な要素を含んでいることもあります。

なお、現在はインターネットが発達し各国政府が国民向けに発信している安全対策や治安の情報もインターネット経由で入手できるようになりました。主な情報源を以下に紹介します。

外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>
アメリカ国務省領事局海外安全情報 <http://travel.state.gov/>
英国政府による海外安全情報 <http://www.fco.gov.uk>

(4) **所在の明確化**: 該当情報なし。

(5) **緊急連絡手段の確保**: 携帯電話は、通常の連絡だけでなく、緊急時に助けを求めたり、大規模な事故発生時の安否確認に必要不可欠な連絡手段となります。このため、外出の際には、必ず携帯電話を携行するとともに、自宅においても着信が判る様に目に付きやすい場所に置くようお願いします。また、有事には携帯電話が切断される恐れもあるところ、自宅に固定電話を整備することを推奨します。

(6) **銃器を所持した犯罪者に遭遇した場合には、生命・身体の安全を最優先して、無抵抗に徹してください。** 要求に抗うことで犯人が興奮し身体に危害を加える可能性が高まりますので、犯人の要求には静かに従うようにしてください。

1. エジプトにおけるリスク

エジプトにおいては、危険を類別すると、(1)一般犯罪、(2)政情不安(暴動・デモ)、(3)テロ、(4)疾病(鳥インフルエンザ等)や自然災害の4つに分けて考えることができます。

(1)一般犯罪

エジプトはこれまで途上国の中では治安が良い国とされてきましたが、2011年1月25日以降の動乱時には警察官が一時的に街から姿を消し、主要都市では商店を対象とした略奪が発生、市民は武器を入手しエリアごとに自衛団を結成しました。その結果、警察の抑止力は低下し、エジプト全土において一般犯罪が増加傾向にあります。

置き引き:空港、ホテルのロビー、レストラン等不特定多数の者が出入りする場所の他、長距離バスや鉄道で移動中に被害に遭う事例も報告されています。バッグなどは常に自分の目の届くところに置く、もしくは膝の上に置くようにしてください。他の日本人関係者が同席しているからと安心せず、席を立つ場合には貴重品は必ず携行してください。

スリ・ひったくり:スリは公共バスや乗り合いミニバスの中や人ごみなど、混雑時に多発しています。ひったくりについては、人通りの少ない場所を一人で歩いている時に多く発生しています。場所と時間を十分注意して行動すると共に、貴重品や大金を持って歩かないように注意してください。特に銀行などから出る時は周囲に気を配り、同じビル内の他の店に寄ってからビルを出たり、移動にはタクシーを使うなどの工夫が必要です。

カージャック:2011年2月の動乱以降、車の盗難が増加傾向にあります。夜間走行中の車のフロントガラスに卵やトマトを投げつけ、運転手が車を止め外に出たところを数人の若者に襲われ、車が強奪される事件も起きています。夜間の外出は控えると共に、安全の確認ができない場所で不用意に車から降りないようにしてください。

タクシー・レンタカーの利用:タクシーはエジプトでの交通手段の一つとして一般的ですが、これまで運転手による強盗・セクハラ等のトラブルが報告されています。ドライバーに不安を感じる場合にはその車を降りる、レンタカー会社に連絡しドライバーの変更を依頼する等トラブルが起きる前に対策を講じることが有効です。特に、女性が単独でタクシーを利用した際に被害が発生していますので、単独でのタクシー利用は避ける、前の席には乗らない等の十分な注意が必要です。

家宅侵入:件数は少ないものの、武装強盗も発生しています。過去に逮捕されたある住居侵入強盗の犯人は取り調べに対して、「日本人を選び、下見して犯行に及んだ」と供述しました。在留日本人の大半が入居するフラットも玄関ドアを一枚開けば危険な外国であることをよく認識してください。また使用人や門番等身近な人に対する注意も怠ってはいけません。身近で起きる不可解な盗難事件の多くは、いわゆる「身内」の犯行、手引であったという事例もあります。住居選定の際は、防犯設備についてもご確認ください。

性犯罪:「カイロは女性が夜独り歩きできる街」という誤った認識は大変危険です。他のアラブ諸国と比べると比較的開放的で安全であると錯覚しがちですが、十分注意が必要です。特に2011年2月の動乱以降性犯罪被害・女性を狙った誘拐事件が増加傾向にあります。

薬物犯罪:薬物の密輸に関してエジプト当局は死刑を含む厳しい姿勢で臨んでいます。また、私服警察官による取締りも頻繁に行われていますので、開放感から安易に薬物に手を出すと重罪を課されることを含め取り返しのつかない事態となります。また出入国の際、安易に他人から荷物を預かった結果、荷物から薬物が発見され「運び屋」として検挙されることもあります。

偽警察官:薬物事件等の捜査を装って職務質問や所持品検査を行い、所持品からパスポート、現金、携帯電話を奪うという手口の窃盗事件の発生も報告されています。犯人は、疑われたらすぐ逃げる構えで犯行に及びますので、周囲の人々を味方に付けて相手の身分を確認する等、犯人のペースにはまらないようにする必要があります。

詐欺、ぼったくり:エジプトでは様々な人々があらゆる手段、理由で親切そうに日本人に接近してきます。「グッド・プライス」、「スペシャル・フォー・ユー」、「フレンド」、「カカハカイ」等々。初対面の相手を信じて前払いで現金を渡す等の行為は、トラブルの原因となりかねません。また最近では、エジプト人が複数で突然住居を訪問し、政府印らしき印章が押されたアラビア語の書類又は身分証を提示する等関係当局からの派遣であるかのように誤信させ、室内に入り込んだうえ、配水管の清掃や消毒作業を行い、作業後、高額な金銭を要求する、いわゆる「訪問詐欺」も報告されています。

(2) 政情不安(暴動・デモ)

2011年2月のムバラク前大統領の退陣前後のデモは、エジプトでは空前の規模となり、ムバラク退陣や民主化要求を掲げて全国的な広がりをもってエジプト全土で発生し、30年近くの治世を誇ったムバラク前大統領を退陣に追い込みました。

特に、カイロ、アレキサンドリアやスエズではデモによる大きな混乱が発生し、カイロ市タハリール広場・TV局周辺では断続的(週末に集中)にデモが行われています。

(3) テロ

1992年頃から、エジプト全土(特に南部アシュート県が中心)で、イスラム原理主義集団による政府転覆を目的とした、政府高官・警察官を狙った襲撃事件、エジプト経済を支える1つの柱である観光産業にダメージを与えるための外国人観光客向けの寝台列車・観光バス・船、観光地を標的とした発砲事件、銀行建物にしかけられた時限爆弾による爆破工作等一連のテロ事件が発生しました。具体的には、1997年のルクソール事件(観光地であるハトシェプスト女王葬祭殿前広場にイスラム原理主義過激派組織の武装グループ6人が観光客に向けて銃を乱射し、日本人観光客10人を含む62人の死者と34人の負傷者を出した事件)、同年のカイロ市国立エジプト博物

館前のタハリール広場の観光バス爆破事件、最近では2004年10月のシナイ半島のタバ、ヌエバ、及びラース・シターン(イスラエル国境に近い保養地)の3ヶ所における連続爆弾テロ事件(35人が死亡、124人が負傷)、2005年7月のシナイ半島南部の保養地シャルム・エル・シェイクにおける3ヶ所連続爆弾テロ事件(64人が死亡、124人が負傷)、2006年4月のシナイ半島東部の保養地ダハブにおける3ヶ所の連続爆弾テロ事件(23人が死亡、62人が負傷)が挙げられます。2011年正月にはアレキサンドリアでイスラム原理主義集団によるコプト教会爆弾事件もありました。

エジプト治安当局は、シナイ半島におけるテロ掃討作戦等、取り締まりを強化していますが、エジプトにおける貧富の格差の拡大、高い失業率に加え、2011年の革命に起因する警察の抑止力の低下、観光業を始めとした経済収入の低下等を背景とし、大学生等若年層の間では、政府に対する批判・現実への失望感は依然として高く、過激主義が浸透しやすい環境となっていること等から、今後も同種のテロ事件が発生する可能性は否定できません。引き続き十分な注意が必要です。

(4)疾病・自然災害

疾病

エジプトでは鳥インフルエンザの感染が多数確認されています。インフルエンザの予防対策を遵守ください。

<鳥インフルエンザ予防対策>

手洗い、うがいの励行。インフルエンザが流行してきたら人混み、繁華街への外出を控える。

抵抗力を保持。バランスのとれた栄養と休養をとり、規則正しい生活を心がける。

生きた鳥類や豚に不用意に近づいたり、接触したりしない。

死んだ鳥には近づいたり、触れたりしない。また料理もしない。

鶏肉、卵はよく火が通った状態のものを食する。

生肉を触った手で調理済みの食べ物を触らない。

生肉を切った包丁とまな板はよく洗い、他の食べ物の調理にそのまま使用しない。

卵の表面もよく洗う。生卵は食べない。

自然災害

風水害:地中海沿岸では冬にゲール(嵐)といわれる強風もしくは風雨に襲われ、港が閉鎖されたりするものの、市民生活に影響する程の被害は出ていません。カイロやデルタ地方でも冬期に降雨があり、排水施設がないため、短時間でも雨量が多いときは道路が冠水して交通麻痺になる場合もあります。また、春先(3~4月)には砂嵐(ハムシーン)が来襲し、ひどい場合には視界が著しく低下して空港が閉鎖される場合があります。

その他

火災:カイロ都市圏では都市ガスとガスボンベによる供給の2方式がありますが、どちらの場合も、ガス漏れに伴う事故が発生しています。また漏電、電気のショート等によると見られる火災も発生しています。消火設備を有している建物は少ないので、火災の際の避難経路を確認しておく必要

があります。

地震: 1992 年にカイロ市内で多数の建物が倒壊し、死者が発生した地震がありました。軽微(日本の震度1か2程度)の地震は年に数回発生しますが、特に被害は出ていません。しかし、カイロでは鉄骨や耐震構造で建設された建物はほとんどなく、また建増し等建築基準を遵守しているかどうか疑わしい建築物も多いため、地震の際は高い建物には近づかない方が安全です。

2. 日常生活における防犯・安全対策

(1) 住居防犯・安全対策

住宅の探し方：セキュリティ、設備、通勤の利便性、家賃、家主の人柄、周囲の環境など希望の条件をすべて満たす優良物件は皆無に等しく、色々な条件の中の優先順位を決めてから探し始める必要があります。また、時間に余裕があれば、関係者の住居を訪問し、相場観を持つことも重要です。

【参考】住居選びの際に考慮すべき事柄

- 住居・家具・設備の質(グレード)
- 周囲の治安状況・家の防犯設備
- 買い物の利便性
- 通勤通学に要する時間・経路

住宅選定上の留意点

< 地域選び >

- ✓ 周囲の住民の収入レベル、住居そのもののグレードなどセキュリティ面を考慮し選択ください。ある程度住宅の候補が絞られたら、住居周辺の安全性、住居防犯設備にかかる点検、アドバイスを依頼することをお勧めします。
- ✓ 政治集会がよく行われる場所の近くなど、騒乱が起こりやすい、騒乱の影響を受けやすい場所は避けてください。また、米国、英国、イスラエルなどの大使館の周辺も避けてください。
- ✓ 情報交換、病気のときの連絡、緊急時及び夜間の連絡・移動の容易さから、大使館関係者が多く住んでいる地域・場所をお勧めします。
- ✓ 自宅から毎日通う場所(勤務先、学校、ショッピングセンターなど)への安全なルートを2本以上確保しておくことは、行動を一定化させないために是非とも必要です。交通量が極端に少なかったり、道幅が狭い道を通らなければならない住居は、襲撃(強盗、誘拐など)を受け易く、また、襲撃を受けた際、逃げ道がないため避けるべきです。また、利用ルートに避難場所(警察署など)があれば、尾行等などの何らかの異変を感じたとき、逃げ込んで危険を回避することができます。

< 建物選び >

- ✓ 行き止まり、道路の終点近くは避ける。
- ✓ 川や林、空き地に面しておらず、正面を除く家の周囲の3面が、人の居住する同等グレードの家に囲まれていることを確認する。
- ✓ ドア本体、窓やドアの枠が頑丈であり、内開きで、蝶番が内側にあること。ドアには複数の錠前、覗き穴、チェーンロック(またはスライドバー)がついている。
- ✓ 照明等が設置されていて、夜間でも見通しがよい。

(2)生活行動に係る対策

前述の「1.安全対策の基本的な考え方」に記載した内容に加え、過去の事件・事故などの事例を元に、行動上のガイドラインを以下のとおり例示しますので、これを守って行動するようお願いします。

一般犯罪対策

1)置き引き

所持品はいつも手から離さず、やむを得ず手を離しても体に触れるようにする。特に長距離バス、鉄道での就寝中の被害に注意する。

2)スリ、ひったくり

- ✓ 人ごみではバッグを体の前に抱えて持ち、歩行中はたすき掛けにし、車道と反対側に持つ。
- ✓ 口の閉まらないものは避け、バッグの口は必ず締める。混雑したところでは、リュック等は体の前に抱える。
- ✓ 必要以上の現金、貴重品は持ち歩かない。また、現金、貴重品は分散して携行する。

3)タクシー利用

- ✓ 早朝、深夜における利用や女性一人での利用は可能な限りさける。やむを得ない場合も、流しのタクシーは避け、無線タクシーやホテルのタクシー等を手配して利用する。
- ✓ 必ず後部座席に乗り、運転手の背後に位置するようにする。万が一の場合に備え、乗車前にプレート番号を確認し控えておくことが望ましい。

4)住居・ホテル安全対策

- ✓ 来訪者に対しては、ドアののぞき穴や声により相手を確認した後ドアを開けるようにし、家の中、ホテルの部屋に不審な人物を入れない。
- ✓ 住居決定後、可能な限り鍵を新しいもの(できるだけ強固なもの、またワンドアツーロックが望ましい)に取り替える、またドアチェーンを設置する。
- ✓ 最悪のケースを想定し、一室は避難部屋として鍵のかかる外部から侵入できない部屋とする。
- ✓ 使用人は身元がしっかりしていて、信頼のおける人の紹介があることが望ましい。
- ✓ 室内には必要以上の金品を置かないようにする。

5)性犯罪

できるだけ肌の露出を避けた服装を心がけ、夜間や人気のない場所での独り歩きは避ける。また、声をかけてくる見知らぬエジプト人男性には十分注意する。万が一被害にあってしまった場合は、ひとりで悩まずに相談すること。

6)薬物犯罪

薬物には絶対に手を出さない。また、安易に見知らぬ人から荷物を預からない。

7) 偽警察官

まずは無視し、しつこい場合には身分証明書の提示を求める。また車両の場合には車のナンバーを確認、控える等する。周囲の人にも協力を求める。

8) 詐欺・ぼったくり

- ✓ 興味のあるそぶりは見せずに、いらぬ物ははっきりと断る。
- ✓ 不審な来訪者の場合は、むやみに相手を室内に入れず、インターホンやドア越しに対応する。また、大家、警備員等に来てもらう等して一人に対応しない。
- ✓ アラビア語が話せる者(大家、警備員等)を通じる等して、相手の身分、所属、書類や身分証の内容を十分に確認する。
- ✓ 確認が取れない場合、アラビア語を解する者がおらず意思疎通ができない場合等にはきっぱりと断り、対応を打ち切る。しつこく居続ける場合には、警備員や警察に連絡する。

デモ・暴動対策

デモや抗議集会の群集には決して近づかず、止むを得ず巻き込まれた場合は速やかにその場から離れてください。また、金曜日の正午のお祈り後、モスク周辺や大学で集会やデモが散発的に発生することがあるので、その時間帯にモスク、大学には近づかないでください。

テロ対策

- ✓ テロの発生しやすい場所への立入を極力避ける。
テロの標的となる可能性が高い政府関係機関や権益に属する施設(米国、英国、イスラエル)、シナゴーク、その他外国人(特に欧米人)多く集まる場所、人ごみ等には極力近づかないようにしてください。また、放置された鞆や不審物には近づかない、爆発によるガラス等の飛散による被害を避けるため、ガラスを多く利用した建物の周辺を避ける、ホテル滞在の場合も窓ガラス飛散の被害を避けるためにカーテンを引いておく等の対応が必要です。
- ✓ 不特定多数の出入りが容易な場所には長時間留まらない。
近年発生している爆弾テロは、市場や観光名所付近、ホテル等不特定多数の人が集まる場所を対象とした例が多く見られます。ホテルでも入り口、フロント付近等不特定多数の人が出入りする場所には、できるだけ留まらない等の対応が必要です。

地方での心得

カイロ首都圏から遠く離れた地方で何らかの被害が発生した場合、通信、交通手段その他の困難な諸条件のため、大使館等からすぐに援護を行うことが難しい場合があります。地方でなんらかの被害を受け、警察等の機関に届け出る場合、カイロでも英語が通じなくて苦労することはよくありますが、地方に出るとその傾向は更に強くなり、しかも警察の体制も十分でないため、大変危険な状態となりえます。首都圏を離れる際は、より一層の防犯意識が必要です。連絡先を含むスケジュールを事前に関係機関に必ず連絡しておくと共に、常時通信手段を確保しておくことが大切です。

自然災害対策

災害の他、停電が頻繁に起こるため、懐中電灯やろうそくは常に身近に置いておくと共に、飲料水、食糧等を数日分は常に蓄えておくことをお勧めします。また、被災して、避難の必要性がある場合は、事前に関係機関に連絡すると共に、災害で電話が通じない場合は隣家や、門番(バウワー)や大家に連絡をしておく必要があります。

その他当国の特殊事情

1) 身分証明書の携帯

街頭において、警察官等からパスポート等身分証明書の提示を求められる場合があります。たまたま持ち合わせていなかったため身柄を拘束されそうになった事例があります。なお、偽警察官等の場合もありますので、相手方官憲の身分証明書もよく確認しましょう。

2) 写真撮影禁止場所

エジプトには、いたるところに軍事関連施設があり、写真撮影が禁止されています。また観光施設であっても警察の体制や装備が被写体となる場合は厳しくとがめられます。知らずに撮影しているところを当局に発見され、カメラ・ビデオやフィルムを没収されたり、身柄を一時拘束された例もあるので注意してください。

3) 古美術品の持ち出し

文化財(遺跡からの出土品等の古美術品)及び一部の化石の国外持ち出しは厳しく規制されています。これらを持ち出す場合は、文化庁考古局の営業許可を受けた古美術商から購入し、出国の際は、古美術証明を税関に提出する必要があります。

4) 水の事故

シャルム・エル・シェイクやハルガダ等のリゾート開発で、スキューバダイビングやシュノーケリングを楽しむ旅行者が増えてきましたが、それに伴う水の事故も発生しています。マリンスポーツは一步間違えると命に関わる危険性があることを十分認識し、安全には十分注意してください。

5) 宗教上の注意事項

公共の人目に触れる場所での飲酒、過度に肌を露出した服装等、イスラム教徒に対し不快感を与えるような行動は避けてください。

6) 通信手段の確保

2011年2月の動乱時には固定電話を除く通信機器(インターネット及び携帯電話)が不通となる事態が発生しました。左記を踏まえ、JICA事務所では地方出張時の衛星携帯電話の携帯、自宅への固定電話の設置を推奨します。

3. エジプトにおける交通事情と対策

(1) 交通事情

エジプトで注意を要するのは交通事故です。エジプトにおける皆さんの安全に関して最も身近な脅威とも言えます。無理な割り込みや車線変更、スピードの出し過ぎに加え、車両整備不良、道路の未整備、歩行者の無理な横断等で、最近の報道によれば、交通事故による死亡者は1万2千人(2010年)に上り、死者の48%が四輪者の乗客で20%が歩行者といわれています。特に高速道路における事故は大惨事となる可能性があります。2003年10月、11月にはカイロからアレキサンドリアに通じる高速道路で邦人観光客の乗るバスの事故が発生し、多数の負傷者を出しました。

エジプトの交通秩序は日本と大きく異なります。道路横断中にはねられた邦人女性の「横断歩道を渡っていたのに」という言葉に象徴されるように、交通に関する遵法意識が日本人とは根本的に違うということをよく認識する必要があります。

万が一、交通事故の被害者になってしまった場合、相手が任意保険に加入している可能性は皆無とと思ってください。軽傷の人身事故はおろか、死亡事故の被害者に対しても一銭も支払われなかったという例があります。エジプトでの滞在に少し慣れたからといって、車の流れの中を泳ぐように横断するのは、相当の危険をはらんでいるということを承知しておいてください。交通事故の被害者となった場合、事故現場で言い争っているうちに逃げられてしまったという事例が多くあります。野次馬が取り巻いているうちに当事者が逃げてしまうということもあります。特に相手に車をぶつけられた時は、すぐに車のナンバー、ドライバーの氏名、電話番号、勤務先等を記録しておきましょう。

また、交通事故の加害者になってしまった場合、まず最優先すべきは負傷者の救助です。相手が負傷していた場合、救急車を呼ぶ、応急処置をする等の対応を行う必要があります。負傷者がいる場合はその保護が当事者の義務ですが、状況によっては自分自身を守らなければならないことがあります。現場で多くの野次馬に囲まれて袋叩きにあたり、地方で子供をひいてしまった外国人が現地の人々に復讐され重傷を負った例等があります。このような場合は、C/P等近くの信頼できる人に連絡して事故発生的事实(時刻、場所、怪我や損傷の程度)を速報し、支援を求めましょう。アラビア語が十分話せないのに、現場で一人だけで対応しようとして良い結果がでた例はあまりありません。また、身の危険を感じた場合、最寄りの警察署に駆け込んで事故を届け出るのも安全な方法の一つです。

警察への届出は、面倒でも必ず行う必要があります。現場で口約束をして別れ、後日、修理代が支払われなかったり、嘘の証言で相手の過失を自分の責任にされた例等があります。警察署では英語は通じないと考えた方がよく、必ずアラビア語を話す人に同行してもらった方がいいでしょう。

これら事故処理の要領は、ケースバイケースで、決まった最善策があるわけではありませんが、過去の事例として参考にしてください。

(2)交通事故対策

1)徒歩の場合

- ✓ 歩道・路肩を歩いていても安全とは言えないため、常に前後の車の流れに注意を怠らない。
- ✓ 路上駐車している車両により車の流れを確認することが遮られる場合は特に注意し、急に道に飛び出さないようにする。
- ✓ 道路の横断には十分気を付ける。特に交通量の多い大きな道路の横断は極力避ける(大通りを横断中に JICA 関係者が車にはねられた事故例もあります)。
- ✓ 夜間でも無灯火の車が多いため、特に夜間の道路の横断には注意をする(無灯火の自動車が高速で走行しており、かなり近づくまで歩行者から見えない場合も多い)。

2)車両の場合

- ✓ 自動車、自動二輪車、自転車の運転は極力避ける(ボランティアはハンドブック参照)。
- ✓ タクシー、レンタカー等に乗車している場合、スピード、車間距離等で不安を感じたらドライバーに減速するように注意する。また夜間の走行の場合は必ずライトを点灯するようにする。
- ✓ 夜間の車両による長距離移動は行わない。
- ✓ 雨の日はスリップ事故が多発するので、特に気を付ける。
- ✓ 砂嵐(ハムシーン)の際は視界が極端に悪くなると共に路上を細かい砂が覆いスリップ事故の危険性が高まるため、特に注意を払う。

* 万が一事故にあった場合はすぐに関係機関に連絡を取り支援を求めてください。

以上

同乗中の事故を防ぐために 現地ドライバーに対する安全運転の依頼と確認事項

走行する前の確認と依頼事項

- 1 ドライバーの運転免許取得状況の確認
- 2 車両保険加入の有無と有効期限の確認
- 3 ドライバーに対して車両の整備点検の徹底依頼
 - ・ タイヤの空気圧と磨耗状況の確認(同乗者も確認)
 - ・ 燃料及びオイルの補給関係の確認
 - ・ 工具類搭載の有無
 - ・ 灯火類点滅の確認
- 4 事前に走行路線の道路状況は把握出来ているか等

ドライバーに対し運転に際しての依頼事項

- 1 法規を遵守した走行に努めること
- 2 **速度は絶対に出し過ぎないこと(事故の70%は速度の出し過ぎである)**
 - ・ 悪路の片側一車線道路での速度は特に控えること
 - ・ 悪路や狭路では、対向車がある場合、事前に必ず減速をすること
 - ・ 水溜りには入らない。豪雨や砂埃等の際は停止すること
 - ・ 人や動物の飛び出し等の予測した走行に努めること
 - ・ 前方車両との車間距離を十分確保し、追突防止に留意すること
 - ・ 同行車両がある場合は、予め集合場所を決め同行走行は控える。やむを得ず同行走行する際は、先行車両ドライバーに絶対に速度を控えめにして走行し、後続車両の走行が把握確認出来る距離間隔を保つよう指示する
 - ・ 速度で時間を取り戻す行為は厳禁であること
- 3 運転中は運転に専念する(携帯電話、同乗者との会話等は慎む)こと
- 4 発進、停止、進路変更時は、左右前後の安全確認を確実にすること
- 5 乗車位置の如何に関わらず、**全員が必ずシートベルトを着装**すること
- 6 いかなる場合でも飲酒運転は厳禁であること

その他(同乗者等)

- 1 **同乗者は積極的にドライバーに対し安全運転に対してのアドバイスを**
- 2 約100km走行毎に15分程度の休憩をとり、ドライバーの健康管理を考慮すること
- 3 アクシデントの際は、関係先への報告連絡を迅速に
(発生場所・時間・事故態様<何と何の事故等>・負傷者の有無と程度・収容先等)

2006年9月29日

セキュリティーアドバイス

平成 23 年 7 月

JICA エジプト事務所

警察による治安維持が十分機能しておらず、一般犯罪が増加傾向にあることを認識して下さい。

長時間の徒歩での移動や夜間(22時以降5時が目安)の外出はお勧めできません。

特に、緊急の場合を除き単独での夜間の外出(タクシー利用含む)は控えて下さい。

道路状況は混沌としており、車が接触事故に遭った場合でも、車から決して安易に降りないようして下さい。

抗議行動・集会・ストは、局地的な騒乱のリスクがあるため、最新情報の収集に努め、近づかないよう留意ください。

自宅や勤務先等では戸締まりを厳重にするなど防犯に努めてください。

緊急時には関係機関に自身の安否につき連絡願います。

以上